## Ⅱ．事業（取組）の概要（当年度事業計画・MP戦略ごとの取組状況等）

### 1．MPに基づくAP（アクションプログラム（単年度行動計画））の実施状況

MP の計画実現性向上・成果創出のために、MP に基づく AP を策定し、全学的に実行しています。これらの当年度の実施状況は下表のとおり、全体の約 8 割（78.1%）が「80%以上の目標達成」となりました（前年比 2.8 ポイント減)。

なお、進捗度が 50%未満の取組を中心として、各セクションがその阻害要因、今後の解決方策等を、自主・自律的に明らかにし、設置校別に報告・検討会（AP 発表会）を行い、確実な改善に繋げることとしています。

**＜5年度APの部署等別実施状況＞**

| 部署等名 | 事業等数（レビュー対象） | 進捗度別　事業等数 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 100-80% | 79-50% | 50%未満 |
| 工学部 | 46 | 32 | 6 | 8 |
| 情報工学部 | 25 | 20 | 5 | 0 |
| 社会環境学部 | 16 | 14 | 2 | 0 |
| 教養力育成センター | 3 | 3 | 0 | 0 |
| 工学研究科 | 29 | 21 | 4 | 4 |
| 社会環境学研究科 | 6 | 4 | 1 | 1 |
| 総合研究機構 | 12 | 10 | 2 | 0 |
| 短大学科 | 27 | 23 | 1 | 3 |
| 〃事務室 | 5 | 5 | 0 | 0 |
| 高校課程 | 19 | 13 | 5 | 1 |
| 〃事務室 | 5 | 3 | 1 | 1 |
| 大学事務局 | 104 | 84 | 13 | 7 |
| 合　計 | 297 | 232 | 40 | 25 |
| 進捗度別比率 | 100% | 78.1% | 13.5 % | 8.4 % |

## ２．第9次MP戦略ごとの総括的な取組成果

### ⑴ 戦略Ⅰ（志願者・入学者の高位安定、外部評価の向上）

志願者・入学者の状況は、3 設置校ともに良好です。多くの私学が学生・生徒定員を満たせない中で、大学の入学志願者は令和 2 年度入試まで 14 年連続で増加、その後も志願倍率 10 倍超（一般選抜九州地区最高位）で相応に安定的です（令和 6 年度選抜における大学志願者 9,272 名（前年 11,255 名）。うち実志願者は 2,873 名（前年比 179 名減））。

短大志願者は大きく減少（288 名（前年 403 名））しました。高校は平成 23 年度入試まで 7 カ年連続で志願者が増加し、以降この高位水準で安定（1,837 名（前年 2,332 名に比し、入学者数低減調整のため約 500 名を抑制））しています。

当年度の入学者は 3 設置校すべてが、財政計画に沿って所定人員を概ね確保しています。

なお、外部評価の指標となる大学ランキングでは、「地域の活性化に貢献している大学」と「就職支援に熱心に取り組む大学」が全国 1 位、「面倒見の良さ」が同 6 位、「小規模だが評価できる」が同 16 位（いずれの指標も九州私大ではトップ水準）等、高位にあります。本学の教育･研究･就職･募集力の全般的な活性度・改革力を評すものとして高く評価できるでしょう。

### ⑵ 戦略Ⅱ（教育改革・改善の進展）

過年度から、教育改革・改善の取組が高く評価され、国等の支援事業に数多く選定・採択されています。私立大学等改革総合支援事業（文科省・私学事業団の政策的補助事業、以下「改革総合支援事業」）では、令和 5 年度は「4 タイプ全選定」（7 回目／ 11 カ年）となり、全国のトップ（1 %内）に位置しています。当補助事業創設以降 11 カ年通算での採択成績は極めて良好で、芝浦工業大、金沢工業大に続いて全国 3 位に位置しています。また、私立大学等経常費補助金（令和 5 年度）は、教育改革・改善や学生の研究活動に関する特別補助について、補助採択件数・補助額が高水準（約 1.2 億円（44 位／全国 585 校（前年度 39 位／全国 583 校））を維持しており、改革・改善の活性度を高い次元で維持しているといえます。このことは、継続して諸活動のトライアルが活発化し相応の成果が創出されていることの証左として高く評価できるでしょう。

### ⑶ 戦略Ⅲ（研究高度化の進展）

国の科学研究費（日本学術振興会より有望な研究計画に付与される研究費）の採択は、過年度から継続して高水準を維持（令和 5 年度 65 件採択（令和 4 年度 73 件））しています。また、研究活動の実用化指標となる産業界等からの共同研究等外部研究費捕捉額（約 1.6 億円）も高い水準です。

この他、総合的な活性度指標となる学会発表件数、研究活動への寄付受入、計測センター等の研究施設利用状況、外部との研究交流事業の実施状況、外部研究費受入額等は増加・拡大しており、活性度は総じて「右肩上がり・高位安定」の傾向といえるでしょう。

### ⑷ 戦略Ⅳ（就職・進学関連指標の高位安定）

令和 5 年度大学・短大卒業生の就職率（内定者／就職希望者）は、いずれも全国平均や福岡県平均を上回る良好な結果（学部就職率 99.6 %、大学院 100 %、短大 100 %）となりました。これらは、過年度から継続して高位安定・好成績です。特に評価できることは、一部上場企業等の大手企業内定が継続的に増加傾向にあることや、実就職率（卒業者数に占める就職・大学院進学者数（短大は大学進学者等）の割合）が高位安定している（学部 98.0%、大学 95.3%、短大（進路決定率）93.9%）ことです。

令和 5 年度の就活サポートの主要施策として開催した学内合同企業説明会では、約 800 社の企業各位の協力・参画を得て、延べ 3,410 名（就職希望者のほぼ全員が参加）が参加し活況でした。今後も就職状況は高位安定する見通しです。

また、高校の進学実績も、国公大学合格実績をはじめとして安定的です。令和 6 年度入試では、国公準大学は 107 名合格（筑波大、宇都宮大、東京外大、大阪大、九州大、山口大、九州工業大、福岡教育大、佐賀大、長崎大、熊本大、大分大、宮崎大、鹿児島大、福岡女子大、防衛大学校等）となりました。難関私大合格は、東京理科大 2 名、青山学院大 1 名、中央大 6 名、法政大 4 名、関西大 2 名、関西学院大 5 名、同志社大 5 名、立命館大 14 名等であり、国公準大学とともに評価できるでしょう。

### ⑸ 戦略Ⅴ（グローバル化と地域貢献活動の活発化）

海外大学との連携については、コロナ禍で停滞したグローバルネットワークを再構築しました。海外協定校は、これまでの 22 大学に加えて、米国ハワイ大学、サンフランシスコ州立大学、台湾明新科技大学、ベトナム国立ハノイ工科大学、ホーチミン市工科大学、国立ダナン工科大学等 16 大学との協定を締結し、38 大学（目標 50 大学）となりました。

地域社会との連携については、教育・研究の両面から地域課題解決に向けた取組・プロジェクト設置等を積極化しました。教育面では、福岡市、福岡都市圏 15 大学での福岡未来創造プラットフォーム学生交流プロジェクトが発足等、研究面では、「潮位測定レーダーシステム開発」等の工学技術の他分野への応用、「情報支援内視鏡外科手術システム開発」等情報技術の医療等他分野へ応用、「下水汚泥焼却灰の再資源（リン）化」等環境・工学・情報技術の融合等、教育・研究活動の「社会実装」が大きく進展しました。

### ⑹ 戦略Ⅵ（財政運営、経営管理、並びにガバナンスの外部評価の向上、格付も「AA-」の高評価）

財務状況についても、様々な学園改革の施策が奏功し、当然のこととして安定的に推移しています。令和 5 年度の決算においても、基本金組入前収支差額（従前の帰属収支差額）は、当初予算を上回ってプラス計上（19 カ年連続の計画通りの黒字（当該期間累計で約 40 億円））しています。

これらのことについて、経営・財務の外部評価（格付投資情報センター(R&I)、日本格付研究所(JCR)の格付）では、予算統制力の高さ、安定したキャッシュフロー、予算と活動計画の連動性の高さ等について継続して高く評価されています。そこで、「『教育研究への積極的資金投下』と『財政の健全性』が高次でバランスしている」、「第 6 次財政計画策定等の明確な将来的施策がある」との評価も得て、格付は JCR では「AA⁻」、R&I は「A⁺」となっています。

なお、本学の、PDCA による経営管理システム、財政運営、情報公表の仕方等の経営手法やガバナンスについて、文科省や私学関係団体から評価を受け、全国に向けて先進事例として継続して紹介されています。最近では、地元新聞社及び地元大手企業で主催される経済セミナーで、本学の人材育成戦略について披露する機会を得て、「今後の九州の経済振興に大きな期待が持てる」等の高い評価を得ました。

### ３．大学のMP戦略ごとの具体的な実施状況

#### ⑴ 戦略Ⅰ（広報および募集活動の質的転換によるステイタス向上）

MP に掲げた諸施策（広報及び募集活動の質的転換（志願倍率九州 1 位、偏差値向上等）、入試制度改革等）の具現化・成果創出の度合いを高め、ステイタスアップし、それらの積極的な情報発信により外部評価が高まり、もって「入学志願者の高位安定」に寄与するとの考え方で、様々な学生・生徒募集活動を積極的に行いました。

しかし、大学の総志願者数（延べ数）は、9,272 名（前年比 1,983 名減）、実志願者数は 2,873 名（前年比 179 名減）となり前年より減少しました。減少要因は、18 才人口の減少はもとより、総合型・学校推薦型選抜等の早期（年内）入試の選択傾向（大学入学共通テストの敬遠）、私立理工系大学の敬遠、国立大学入試の易化に伴う私大併願校数の減少等、受験動向の全体的変化によるものです。

なお、当年度の入学者は、当初の計画（第 6 次中期財政計画）に沿って、所要の入学者を確保（大学 1,069 名）し、過年度に続き「経営・財政の安定化」に資するものとなりました。

今後の募集活動について、外部環境が悪化する中で、理工系大学に対する社会的要請（とりわけ、九州の理工系人材不足）の高まり、アジア、九州における地理的優位性、情報・環境・モノづくり（時代的要請）を活動領域とする特長、そこでの教育改革・改善の積極性等、それらの強みに活路を見出すことが重要となります。

#### ⑵ 戦略Ⅱ（学修者本位の教育による付加価値向上）

##### ①基本的考え方（新たな教育改革・改善活動の全学的推進）

当年度、FD 推進機構を再編して「教育開発推進機構」、そのもとに教育開発推進会議、教学マネジメント部門、教育イノベーション部門を設置し、「新たな教育改革・改善活動を全学的に推進」しています。具体的な取組内容は以下のとおりです。

##### ②改革・改善等の諸施策

##### 1) 教育点検（カリキュラム・授業科目・全学レベル、学生レベルのアセスメント）

大学の 3 つのポリシー（卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針）の適切性とそれらの機能・役割の視点で、①教育課程、②授業科目、③学生・学修のレベル、それぞれのプロセスとその成果を総合的に点検し、教育・授業改善と学生の成長双方の向上を目指しています。

##### 2) 教学IR（調査・分析活動）

教育・学修に関するデータを収集・分析し、学修成果を可視化するとともに、この活動を推進し、そのデータを活用しながら、全学的な教育システムを企画・実施する等、教学マネジメントの確立に向けた取組を行っています。

##### 3) FD（教授法開発）活動

教育能力の開発および向上、教育プログラムの開発および支援の取組を積極化し、その基盤的取組として、FD に関する企画、開発、実施、関連情報の収集・分析活動を行い、「全学的 FD」の推進に努めています。具体的には、FDcafe（先進的な授業実践事例の共有、学生との意見交換等を学部・学科・事務局横断的に実施）、新任教員 FD 研究会、外部 FD セミナー等を企画・開催しています。

##### 4) 学生FD活動（FIT-join）

FIT-join（学生 FD 活動団体）スタッフが、授業改善について学生の視点から教職員と一緒に考え、大学と学生をつなぐ活動によって本学の「学びのコミュニティーづくり」の役割を担っています。学

生の視点での学生・教職員間のコミュニケーションが教育改善の実質性を高めています。

上述の他に、学生の学習意識・行動を向上させる取組として、入学前教育、新入生オリエンテーション、基礎講座（補完教育）開設、FIT-in サポート（学びのコミュニティづくり）、FIT-AIM（主体的学びのための双方向学習支援システム）、クラスサポーター制度、学生ケア取組、学業優秀・資格取得表彰制度等を過年度から継続して行っています。

**5) 新たな教育領域への全学展開**

人材育成ニーズや学修ニーズの多様化・高度化に対応して、アクティブラーニング型学修方法を基軸とした、数理・データサイエンス・AI 教育、SDGs 教育（FIT-SDGs プロジェクト、アントレプレナーシップ（企業・起業家育成）教育）にも着手しています。

### (3) 戦略Ⅲ（特色ある研究によるプレゼンスアップ）

総合研究機構では、研究活動の活性化・高度化に向けて、研究活動に対して財政的支援、研究施設・機器等の環境整備、研究会・技術講習会開催、研究倫理・コンプライアンス等法的支援、特許出願等の知的財産管理等の諸支援策を拡充するとともに、当該活動によって得られた成果の社会還元として、地元地公体をはじめとした地域社会での実装・実用化、研究活動視察受け入れ、研究者情報のデータベース公開（更新）を積極化しました。

研究活動の活性化・高度化のひとつの指標となる、外部研究資金の受入額は、約 2.5 億円となり、ほぼ目標金額を達成しました。国（文科省）の科学研究費補助金は、採択件数、金額ともに前年度を下回ったものの、文科省以外の国交省や総務省、その外郭団体等から交付される公的研究費は順調に拡大しています。これは、本学の研究活動・テーマに対する社会実装・実用化の高まり、プレゼンスアップの証左であると判断しています。

### (4) 戦略Ⅳ（キャリア教育と就職支援・進学支援による満足度向上）

入学から就職内定、卒業まで一環した、体系的・系統的なキャリア教育によって、「実践型人材」の育成を図っています。関係する授業科目等のキャリアプログラムは一貫してアクティブラーニングを基軸として行いました。また、正課・課外双方での企業・学内インターンシップ（就業体験）も、課題解決型職業体験を取り入れる等、「実践型人材」育成に貢献し得る内容となっています。

学生の就活サポートは、正課外で就職・就活対策講座、面接指導、産業界研究フェア・学内企業説明会（面談会）・保護者対象就職ガイダンス開催、就活経済的支援等を「就職 100 %・就職満足度向上」に向けて総合的に行いました。

就職率等の指標は、従前どおり「就職日本一・就職の福工大」を標榜するにふさわしい結果となりました。

### (5) 戦略Ⅴ－1（グローバル化の推進）

経済・産業・学術研究のグローバル化への対応として、グローバルビジョンや国際適応力指標を確立する等、実質・明確化しました。その基本的考え方のもとで、当該教育の内容改善（留学・海外研修に向けた外国語教育強化、PBL 導入等）や、教育・支援方法改善（ハイブリット学習やオンライン交流プログラム導入、海外留学の経済的支援等）を、正課及び正課外教育が連携・協働して積極化しました。

国際交流の人材育成における重要性から、その経験学生を増加させるため、活動フィールド（海外

提携大学）を大幅に拡大（令和 4 年度 22 大学から令和 5 年度 38 大学へ大幅に拡大）しました。もとより、外国人学生の受け入れ事業も、日本語・日本文化の教育内容・方法改善、日本企業就職支援強化等により積極化しています。

### ⑹ 戦略Ⅴ－2（地域連携の推進）

「地域社会貢献」と「実社会をフィールドとする学びの機会創出」を主要な目的として、社会連携センターを設置しました。

当該目的を高次レベルで達成し大きな成果を創出するためには、外部機関等との連携が不可欠との考え方で、地元地公体、企業、金融機関、医療機関、警察、他大学等との連携協定・ネットワークを拡大し、当初目的を果たすための具体的な取組を行いました。

地域社会の安全・安心に向けて、防災・減災研究、サイバーセキュリティ対策、防犯パトロール等の活動、環境活動として、ゴミ減量対策、地元河川・海での環境調査、清掃等の活動、経済振興対策として、商店街活性化プロジェクト、地域創生ワークショップ等の活動を行いました。この他、高齢化社会やデジタル化社会への対応として、地域住民の健康増進、地元小・中学校、高校の ICT、ロボット教育等のサポートも行いました。

上記の活動は、本学学生、地元小・中学生、高校生の学びのフィールド・機会としても大きく貢献しています。

### (7)データ・指標

**①戦略1（学生募集）　＜P.16＞**

1)募集活動別動員数の推移
2)学科ごとの延べ志願者数の推移
3)入学志願者数の推移（入試種別）
4)入学志願者・入学者数の推移（出身県別）
5)女子学生の志願者および入学者の状況

**②戦略2（教育）　＜P.18＞**

6)授業アンケート集計結果
7)教育開発推進室の主な活動
8)奨学費・対象人数の状況
9)留年判定者数一覧

**③戦略3（研究）　＜P.23＞**

10)外部研究費（科学研究費、受託研究費等）採択実績
11)科学研究費採択実績
12)地公体・公的機関研究費採択実績
13)特許出願・登録案件一覧
14)総合研究機構主催研究講演一覧
15)総合研究機構主催研究成果発表会・技術講習会一覧
16)総合研究機構の研究支援予算制度
17)直近 10 カ年導入機器一覧
18)自治体・企業・教育機関等との連携協定一覧

**④戦略4（就職）　＜P.28＞**

19)就職率・実就職率（全体・学科別）
20)規模別就職状況
21)業種別就職状況
22)職種別就職状況
23)地区別就職状況

**⑤戦略5（グローバル化・地域貢献）　＜P.30＞**

**＜グローバル化＞**

24)グローバル化教育施策一覧
25)国際交流実績一覧
26)オンライン英会話プログラム参加状況
27)学術交流使節団参加状況
28)国外交流協定大学一覧

**＜地域貢献＞**

29)社会連携 PBL プログラム一覧
30)社会連携関連行事の開催状況
31)社会連携活動の取組状況・成果一覧

**⑥その他　＜P.38＞**

32)情報基盤センター関連設備利用実績
33)図書館入館者数・貸出数
34)社会連携センター利用学生の資格取得実績
35)モノづくりセンタープロジェクト活動実績
36)学生表彰（団体表彰・個人表彰・卒業時学業成績優秀者）
37)学会表彰
38)高校の大学等合格実績・就職状況

### 1) 募集活動別動員数の推移

| | R2年度入試 | R3年度入試 | R4年度入試 | R5年度入試 | R6年度入試 | R6/R5 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 高校訪問（延べ訪問数） | 1,646 | 1,230 | 1,298 | 1,655 | 1,651 | 99.8% |
| DM（保護者、高校生宛）通数 | 14,400 | 85,808 | 53,200 | 53,061 | 59,627 | 112.4% |
| メールマガジン延べ配信数 | 27,331 | 49,749 | 50,205 | 78,884 | 72,600 | 92.0% |
| 資料請求数 | 24,174 | 24,822 | 22,842 | 22,461 | 21,534 | 95.9% |
| ＨＰセッション数 | 842,800 | 1,082,623 | 919,792 | 927,653 | 1,030,163 | 111.1% |
| ＳＮＳフォロワー数 | 1,340 | 1,612 | 1,701 | 3,211 | 3,826 | 119.2% |
| YouTube入試動画再生回数 | － | － | － | － | 2,688 | － |
| パブリシティ掲載数 | 295 | 334 | 335 | 299 | 343 | 114.7% |
| 高校内進学説明会実施回数 | 62 | 70 | 65 | 93 | 88 | 94.6% |
| 模擬講義／分野別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ実施回数 | 46 | 17 | 36 | 55 | 62 | 112.7% |
| 進学相談会（会場数） | 36 | 31 | 34 | 31 | 29 | 93.5% |
| 進学相談会（着席数） | 742 | 455 | 479 | 407 | 473 | 116.2% |
| 団体見学（校数） | 39 | 13 | 11 | 28 | 36 | 128.6% |
| 団体見学（人数） | 1,506 | 282 | 563 | 1,120 | 1,460 | 130.4% |

### 2) 学科ごとの延べ志願者数の推移

| | R2年度入試 | R3年度入試 | R4年度入試 | R5年度入試 | R6年度入試 | R6/R5 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 工学部 | 5,690 | 4,740 | 4,563 | 4,813 | 3,817 | 79.3% |
| 電子情報工学科 | 1,574 | 1,330 | 1,243 | 1,362 | 1,085 | 79.7% |
| 生命環境化学科 | 1,274 | 993 | 982 | 1,051 | 844 | 80.3% |
| 知能機械工学科 | 1,542 | 1,295 | 1,198 | 1,211 | 990 | 81.8% |
| 電気工学科 | 1,300 | 1,122 | 1,140 | 1,189 | 898 | 75.5% |
| 情報工学部 | 5,783 | 5,627 | 5,284 | 5,472 | 4,485 | 82.0% |
| 情報工学科 | 1,995 | 1,969 | 1,797 | 1,884 | 1,550 | 82.3% |
| 情報通信工学科 | 1,237 | 1,258 | 1,100 | 1,222 | 903 | 73.9% |
| 情報システム工学科 | 1,605 | 1,543 | 1,557 | 1,495 | 1,138 | 76.1% |
| 情報マネジメント学科(※) | 946 | 857 | 830 | 871 | 894 | 102.6% |
| 社会環境学部社会環境学科 | 1,112 | 978 | 899 | 970 | 970 | 100.0% |
| 合　計 | 12,585 | 11,345 | 10,746 | 11,255 | 9,272 | 82.4% |

（※）R5年度入試までシステムマネジメント学科

### 3) 入学志願者数の推移（入試種別）

| | R2年度入試 | R3年度入試 | R4年度入試 | R5年度入試 | R6年度入試 | R6/R5 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合型選抜計 | 100 | 71 | 88 | 81 | 60 | 74.1% |
| スペシャルスキル | 50 | 44 | 57 | 53 | 44 | 83.0% |
| 総合型選抜【後期】 | 50 | 27 | 31 | 28 | 16 | 57.1% |
| 学校推薦型選抜計 | 686 | 706 | 627 | 638 | 601 | 94.2% |
| 専願制 | 305 | 366 | 317 | 306 | 297 | 97.1% |
| 併願制 | 381 | 340 | 310 | 332 | 304 | 91.6% |
| 一般選抜 | 11,799 | 10,568 | 10,031 | 10,536 | 8,611 | 81.7% |
| 3教科型 | 2,871 | 2,523 | 2,406 | 2,222 | 1,992 | 89.6% |
| 共通テスト利用（社会環境学部） | 128 | 93 | 72 | 92 | 81 | 88.0% |
| 共通テスト利用【前期（全学部）】 | 5,356 | 5,229 | 5,010 | 5,204 | 4,547 | 87.4% |
| 共通テスト利用【中期（〃）】 | 2,592 | 2,208 | 2,156 | 2,594 | 1,658 | 63.9% |
| 共通テスト利用【後期（〃）】 | 835 | 499 | 377 | 418 | 320 | 76.6% |
| 留学生 | 17 | 16 | 10 | 6 | 13 | 216.7% |
| 志願者合計 | 12,585 | 11,345 | 10,746 | 11,255 | 9,272 | 82.4% |

### 4) 入学志願者・入学者数の推移（出身県別）

#### ①入学志願者

| | R4年度入試 | R5年度入試 | R6年度入試 | R6/R5 |
|---|---|---|---|---|
| 全体 | 10,746 | 11,255 | 9,272 | 82.4% |
| 福岡県 | 8,193 | 8,723 | 6,812 | 78.1% |
| 佐賀県 | 475 | 537 | 477 | 88.8% |
| 長崎県 | 498 | 398 | 392 | 98.5% |
| 熊本県 | 245 | 267 | 147 | 55.1% |
| 大分県 | 289 | 293 | 333 | 113.7% |
| 宮崎県 | 230 | 289 | 253 | 87.5% |
| 鹿児島県 | 278 | 246 | 280 | 113.8% |
| 沖縄県 | 91 | 71 | 69 | 97.2% |
| 九州地区 計 | 10,299 | 10,824 | 8,763 | 81.0% |
| 山口県 | 227 | 243 | 247 | 101.6% |
| 中国地区 他 | 91 | 77 | 52 | 67.5% |
| 四国地区 | 29 | 17 | 41 | 241.2% |
| その他 | 100 | 94 | 169 | 179.8% |

#### ②入学者

| | R4年度入試 | R5年度入試 | R6年度入試 | R6/R5 |
|---|---|---|---|---|
| 全体 | 1,000 | 1,038 | 1,069 | 103.0% |
| 福岡県 | 702 | 725 | 726 | 100.1% |
| 佐賀県 | 55 | 58 | 70 | 120.7% |
| 長崎県 | 51 | 51 | 53 | 103.9% |
| 熊本県 | 30 | 31 | 23 | 74.2% |
| 大分県 | 35 | 40 | 36 | 90.0% |
| 宮崎県 | 29 | 38 | 35 | 92.1% |
| 鹿児島県 | 42 | 42 | 44 | 104.8% |
| 沖縄県 | 9 | 8 | 11 | 137.5% |
| 九州地区 計 | 953 | 993 | 998 | 100.5% |
| 山口県 | 20 | 26 | 29 | 111.5% |
| 中国地区 他 | 9 | 8 | 12 | 150.0% |
| 四国地区 | 4 | 1 | 9 | 900.0% |
| その他 | 14 | 10 | 21 | 210.0% |

### 5) 女子学生の志願者および入学者の状況

| | R4年度入試 | | | R5年度入試 | | | R6年度入試 | | | 女子入学者 R6/R5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 志願者 | 入学者 | | 志願者 | 入学者 | | 志願者 | 入学者 | | |
| | 女子人数 | 女子人数 | 割合 | 女子人数 | 女子人数 | 割合 | 女子人数 | 女子人数 | 割合 | |
| 工学部 | 678 | 47 | 6.9% | 964 | 48 | 5.0% | 623 | 63 | 10.1% | 131.3% |
| 電子情報工学科 | 130 | 4 | 3.1% | 227 | 6 | 2.6% | 133 | 7 | 5.3% | 116.7% |
| 生命環境化学科 | 289 | 35 | 12.1% | 350 | 36 | 10.3% | 265 | 46 | 17.4% | 127.8% |
| 知能機械工学科 | 134 | 3 | 2.2% | 202 | 2 | 1.0% | 124 | 5 | 4.0% | 250.0% |
| 電気工学科 | 125 | 5 | 4.0% | 185 | 4 | 2.2% | 101 | 5 | 5.0% | 125.0% |
| 情報工学部 | 893 | 67 | 7.5% | 1,080 | 46 | 4.3% | 765 | 56 | 7.3% | 121.7% |
| 情報工学科 | 261 | 20 | 7.7% | 299 | 16 | 5.4% | 217 | 21 | 9.7% | 131.3% |
| 情報通信工学科 | 186 | 13 | 7.0% | 252 | 11 | 4.4% | 168 | 15 | 8.9% | 136.4% |
| 情報システム工学科 | 248 | 15 | 6.0% | 285 | 6 | 2.1% | 184 | 4 | 2.2% | 66.7% |
| 情報マネジメント学科(※) | 198 | 19 | 9.6% | 244 | 13 | 5.3% | 196 | 16 | 8.2% | 123.1% |
| 社会環境学部社会環境学科 | 273 | 35 | 12.8% | 332 | 38 | 11.4% | 314 | 40 | 12.7% | 105.3% |
| 総合計 | 1,844 | 149 | 8.1% | 2,376 | 132 | 5.6% | 1,702 | 159 | 9.3% | 120.5% |

（※）R5年度入試までシステムマネジメント学科

## 6) 2023 年度授業アンケート集計結果

## 前期　全学（総合計）

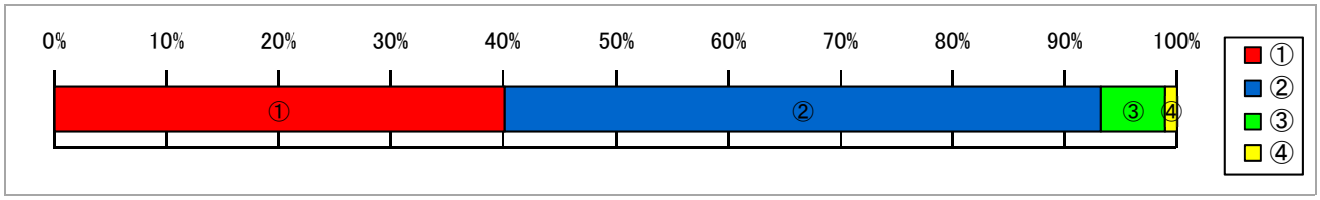
### 1. 実施概要

（１）実施日　　2023/07/03(月)　～　2023/07/19(水)
（２）対象授業　2023 年度前期　全学（総合計）
　　開講年期：　2023 年　～　2023 年　前期
（３）回答人数　17,240 人　履修者：36,158 人　回答率：47.68%

### ２．集計結果

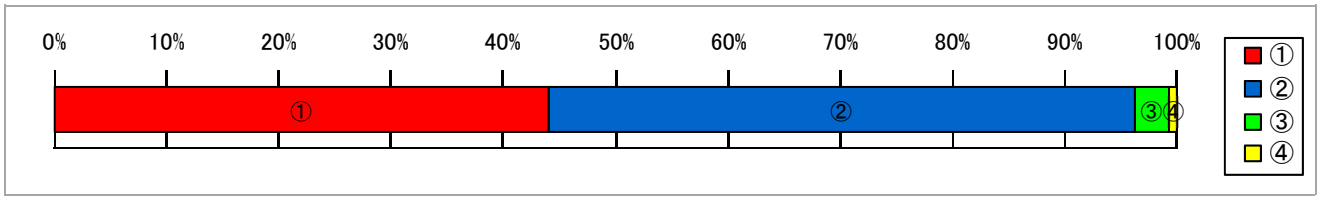
**(1) この授業を受講するにあたって、シラバスの内容を確認しましたか。**

①充分に確認した（ 6,921 人 40.1% ）　②ある程度確認した（ 9,137 人 52.9% ）　③あまり確認していない（ 1,005 人 5.8% ）
④全く確認していない（ 177 人 1% ）



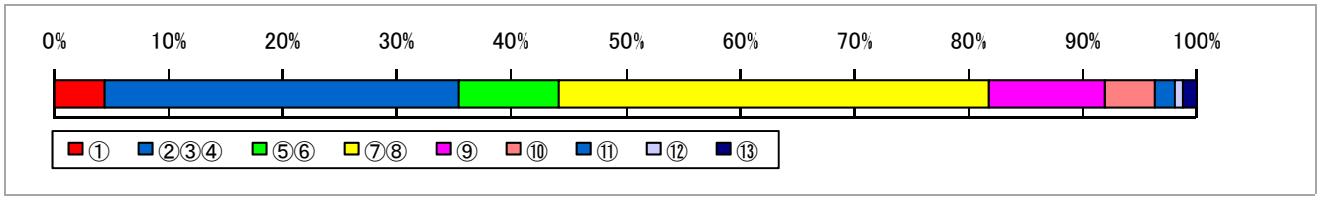

**(2) この授業において自主的かつ意欲をもって学習に取り組むことができましたか。**

①充分に取り組んだ（ 7,596 人 44% ）　②ある程度取り組んだ（ 8,999 人 52.1% ）　③あまり取り組んでいない（ 521 人 3% ）
④全く取り組んでいない（ 124 人 0.7% ）




**(3) この授業科目における授業時間以外での学習時間(予習・復習、課題、自主学習等)の合計は、１週間あたりどのぐらいでしたか。**

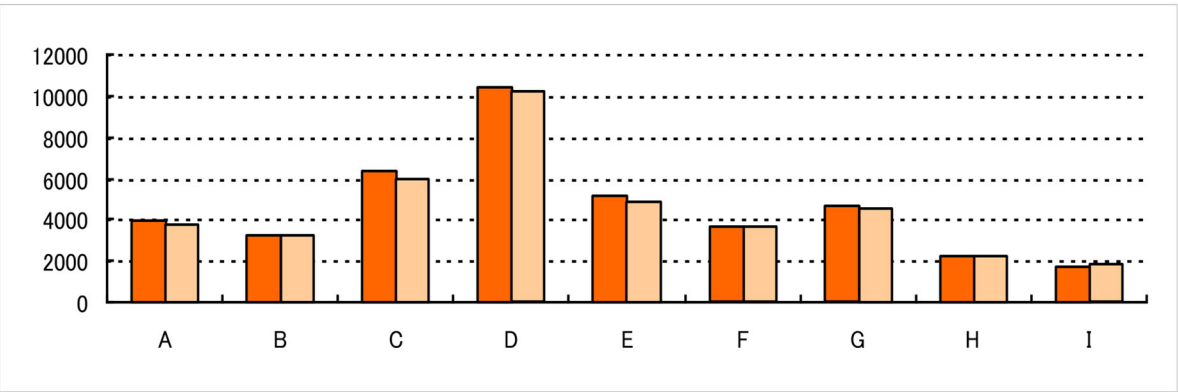
①0 分（ 745 人 4.3% ）　②10 分（ 781 人 4.5% ）　③20 分（ 1,033 人 5.9% ）　④30 分（ 3,529 人 20.4% ）　⑤40 分（ 914 人 5.3% ）　⑥50 分（ 601 人 3.4% ）　⑦1 時間（ 4,849 人 28.1% ）　⑧1 時間 30 分（ 1,622 人 9.4% ）　⑨2 時間（ 1,742 人 10.1% ）
⑩3 時間（ 766 人 4.4% ）　⑪4 時間（ 307 人 1.7% ）　⑫5 時間（ 109 人 0.6% ）　⑬6 時間以上（ 236 人 1.3% ）




平均学習時間：　68 分

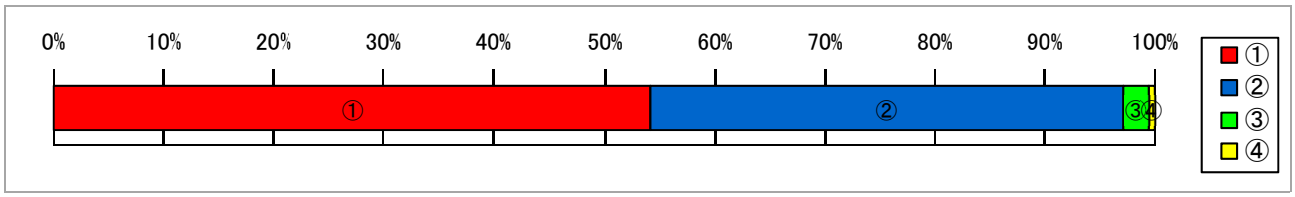
**(4) この授業で成長させたいと考えていた 『力』 は何ですか。当てはまるものを３つまで選んでください。**
**(5) この授業を通じて実際に伸ばすことができたと実感している 『力』 は何ですか。当てはまるものを３つまで選んでください。**

| No | 選択項目 | 問 4 | 問 5 |
|---|---|---|---|
| A | 多面的理解：地球的観点から多面的に物事を考える能力とその素養 | 3,976 | 3,755 |
| B | 社会的責任：技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、社会に対して負う責任の理解 | 3,222 | 3,218 |
| C | 数量的スキル・リテラシー：数学・自然科学（人文社会科学）の知識と応用能力 | 6,324 | 5,995 |
| D | 専門知識：当該分野において必要とされる専門知識とそれらを応用する能力 | 10,432 | 10,142 |
| E | 課題解決力：科学技術、情報及び知識を活用して社会の要求を解決するデザイン能力 | 5,129 | 4,862 |
| F | コミュニケーション：論理的な記述、口頭発表、討議等のコミュニケーション能力 | 3,620 | 3,593 |
| G | 主体性：自主的、継続的に学習する能力 | 4,678 | 4,533 |
| H | 実行性：与えられた制約の中で計画的に仕事を進め、まとめる能力 | 2,234 | 2,259 |
| I | 協働性：チームで仕事をするための能力 | 1,743 | 1,847 |




**(6) この授業の内容は全体として意義あるものでしたか。**

①充分意義があった（ 9,342 人 54.1% ） ②ある程度意義があった（ 7,382 人 42.8% ） ③あまり意義がなかった（ 411 人 2.3% ）
④ 全く意義がなかった（ 105 人 0.6% ）




## 後期　全学（総合計）

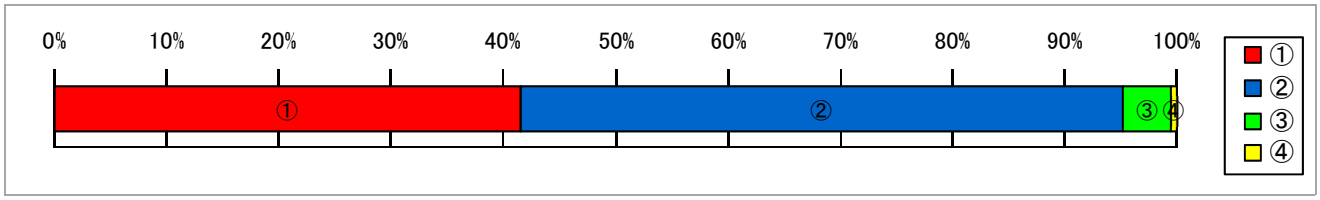
### 1. 実施概要

（１）実施日　　2023/12/25(月)　～　2024/01/19(金)
（２）対象授業　2023 年度後期　全学（総合計）
　　開講年期：　2023 年　～　2023 年　後期
（３）回答人数　12,574 人　履修者：33,332 人　回答率：37.72%

### 2. 集計結果

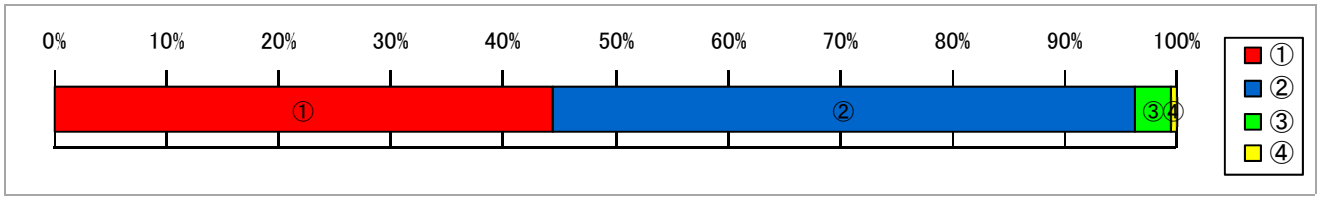
**(1) この授業を受講するにあたって、シラバスの内容を確認しましたか。**

①充分に確認した（ 5,218 人 41.4% ） ②ある程度確認した（ 6,741 人 53.6% ） ③あまり確認していない（ 533 人 4.2% ）
④全く確認していない（ 82 人 0.6% ）



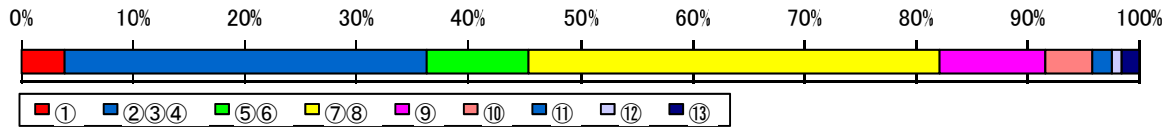

**(2) この授業において自主的かつ意欲をもって学習に取り組むことができましたか。**

①充分に取り組んだ（ 5,571 人 44.3% ） ②ある程度取り組んだ（ 6,515 人 51.8% ） ③あまり取り組んでいない（ 407 人 3.2% ）
④ 全く取り組んでいない（ 81 人 0.6% ）



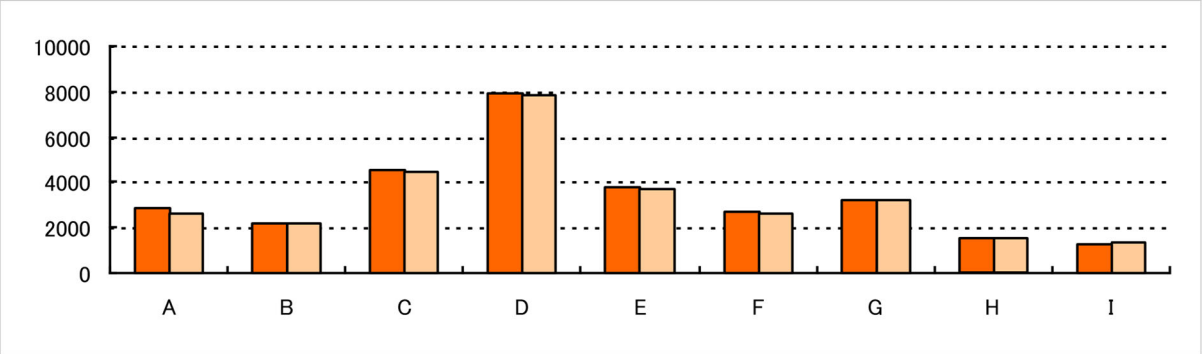
**(3) この授業科目における授業時間以外での学習時間(予習・復習、課題、自主学習等)の合計は、１週間あたりどのぐらいでしたか。**

①0 分( 478 人 3.8% )　②10 分( 501 人 3.9% )　③20 分( 832 人 6.6% )　④30 分( 2,741 人 21.7% )　⑤40 分( 693 人 5.5% )
⑥50 分( 457 人 3.6% )　⑦1 時間( 3,504 人 27.8% )　⑧1 時間 30 分( 1,112 人 8.8% )　⑨2 時間( 1,189 人 9.4% )
⑩3 時間( 525 人 4.1% )　⑪4 時間( 231 人 1.8% )　⑫5 時間( 101 人 0.8% )　⑬6 時間以上( 210 人 1.6% )



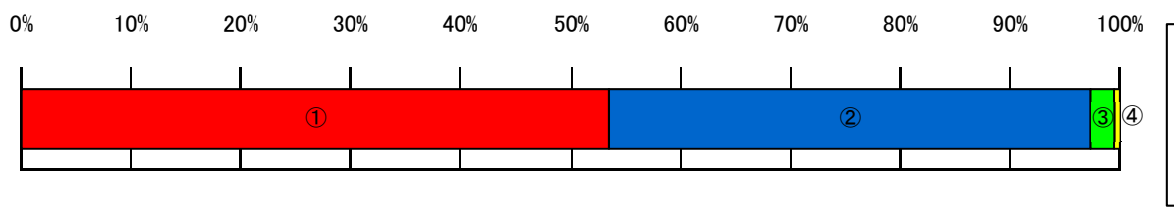

**(4) この授業で成長させたいと考えていた 『力』 は何ですか。当てはまるものを３つまで選んでください。**
**(5) この授業を通じて実際に伸ばすことができたと実感している 『力』 は何ですか。当てはまるものを３つまで選んでください。**

| No | 選択項目 | 問 4 | 問 5 |
|---|---|---|---|
| A | 多面的理解：地球的観点から多面的に物事を考える能力とその素養 | 2,817 | 2,643 |
| B | 社会的責任：技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、社会に対して負う責任の理解 | 2,150 | 2,226 |
| C | 数量的スキル・リテラシー：数学・自然科学（人文社会科学）の知識と応用能力 | 4,575 | 4,447 |
| D | 専門知識：当該分野において必要とされる専門知識とそれらを応用する能力 | 7,930 | 7,777 |
| E | 課題解決力：科学技術、情報及び知識を活用して社会の要求を解決するデザイン能力 | 3,754 | 3,687 |
| F | コミュニケーション：論理的な記述、口頭発表、討議等のコミュニケーション能力 | 2,711 | 2,632 |
| G | 主体性：自主的、継続的に学習する能力 | 3,226 | 3,173 |
| H | 実行性：与えられた制約の中で計画的に仕事を進め、まとめる能力 | 1,489 | 1,494 |
| I | 協働性：チームで仕事をするための能力 | 1,270 | 1,329 |




**(6) この授業の内容は全体として意義あるものでしたか。**

①充分意義があった( 6,710 人 53.3% )　②ある程度意義があった( 5,522 人 43.9% )　③あまり意義がなかった( 274 人 2.1% )
④ 全く意義がなかった( 68 人 0.5% )



### 7) 教育開発推進室の主な活動

**FD Caféの実施**

| 回数 | 開催時期 | 開催テーマ | 講演者(ファシリテーター) |
|---|---|---|---|
| 第28回 | R5.6.9 | 大学教育DXの現状と今後の展望 | 慶應義塾大学大学院特任教授<br>井上　雅裕先生 |
| 第29回 | R5.8.29 | 仮想現実空間を活用した学びの革新化と教育DX推進の試み | 本学工学部生命環境化学科<br>赤木　紀之教授 |
| 第30回 | R5.9.14 | 生成AIの利用について～可能性と課題～ | （利活用の場面や課題等について、教職員でディスカッション） |
| 第31回 | R5.9.20 | 大学で身につける力について考えよう！ | （学生アンケートの発表、教職員・学生とのディスカッション） |
| 第32回 | R5.10.31 | DX推進デジタル人材育成の政策動向 及び企業DX事例について | 経済産業省九州経済産業局<br>春口　浩子様 |
| 第33回 | R5.12.15 | 学生の主体性を育てる仕組みづくり | 本学教養力育成センター<br>土屋　麻衣子教授 |

**その他の活動**

| 活動名 | 活動内容（開催時期、活動の目的、参加者数等） | |
|---|---|---|
| 新任教員FDフォローアップ研修会 | R5.9.12 | 新任教員（主に1～2年目）が対象。本学の教育の特色や目指す方向性について理解を深めることを目的とする。教職員22名参加 |
| 教学マネジメント委員意見交換会 | R5.10.30 | 所属組織を越えて本学に必要な教育改善について意見交換・課題共有を行い、効果的なFD活動につなげる。教職員21名参加 |
| FIT-SDGｓプロジェクト | R6.3.5～3.6 | 知識探究型学生交流ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ宿泊研修を実施。「防災×SDGｓ」をテーマにグループワークを通じて課題解決策を検討。学生・教職員27名参加 |
| 学生サポーター研修 | R5.9.22他 | 学部生等が授業をサポートする制度。春季・秋季研修、ファシリテーション研修等により学生サポーターの育成と教育効果の最大化を図る |
| 学部表彰 | R6.4.3 | 学業優秀者や学部が推奨する資格取得者を表彰する制度。当年度は、「優秀学生表彰」201名201件、「資格取得表彰」181名204件を表彰した |
| アントレプレナーシップ教育 | R5.11.12他 | PARKSｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ人材育成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ「新聞ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ･ｺﾝﾃｽﾄ」を開催。本学学生7名、小中学生(西日本新聞こども記者経験者)14名参加 |

### 8) 令和5年度奨学費・対象人数の状況

**①本学独自奨学金**　　（金額単位：千円）

| 奨学の趣旨 | 大学 | 短大 | 高校 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 学業奨励 | 101,016（200人） | 7,360（20人） | 48,280（193人） | 156,656（413人） |
| 課外活動奨励 | 71,142（118人） | | 18,901（105人） | 90,043（223人） |
| 経済的事由対応 | 10,401（33人） | 1,290（6人） | | 11,691（39人） |
| 経済的事由（留学生） | 4,130（12人） | 320（1人） | | 4,450（13人） |
| 国際交流支援 | 8,828（24人） | | | 8,828（24人） |
| その他 | | 4,675（36人） | 6,738（35人） | 11,413（71人） |
| 合計 | 195,518（387人） | 13,645（63人） | 73,919（333人） | 283,083（783人） |

**②修学支援費＜国の高等教育修学支援新制度（4年目）＞**

R5年度授業料等減免採用実績

学部：614名/320,335千円　（569名/295,978千円）

短大：　68名/ 33,281千円　（ 72名/ 34,448千円）

※人数には支援対象外休停止中の学生含む　（　）内は前年度実績

R6年度以降は支援拡大（第Ⅳ区分：多子世帯、理工農系）により更に増加を見込む

## 9) 留年判定者数一覧

在籍＝在籍者数（年度当初）　　留年＝留年判定者数

| 学部 | 学科 | 学年 | 令和元年度 | | | 令和2年度 | | | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | 令和5年度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 在籍 | 留年 | 率 | 在籍 | 留年 | 率 | 在籍 | 留年 | 率 | 在籍 | 留年 | 率 | 在籍 | 留年 | 率 |
| 工学部 | 電子情報 | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 生命環境 | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 知能機械 | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 電気 | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小　計 | | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報工学部 | 情報 | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 情報通信 | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 情報ｼｽﾃﾑ | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ｼｽﾃﾑ ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小　計 | | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社会環境学部 | 社会環境 | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合　計 | | 1年 | 1,086 | 67 | 6.2% | 1,066 | 110 | 10.3% | 1,131 | 77 | 6.8% | 1,054 | 76 | 7.2% | 1,094 | 93 | 8.5% |
| | | 2年 | 1,111 | 120 | 10.8% | 1,084 | 135 | 12.5% | 1,036 | 138 | 13.3% | 1,141 | 127 | 11.1% | 1,058 | 119 | 11.2% |
| | | 3年 | 1,083 | 116 | 10.7% | 1,089 | 132 | 12.1% | 1,065 | 114 | 10.7% | 988 | 108 | 10.9% | 1,106 | 111 | 10.0% |
| | | 4年 | 940 | 49 | 5.2% | 983 | 69 | 7.0% | 993 | 50 | 5.0% | 983 | 34 | 3.5% | 896 | 30 | 3.3% |
| | | 合計 | 4,220 | 352 | 8.3% | 4,222 | 446 | 10.6% | 4,225 | 379 | 9.0% | 4,166 | 345 | 8.3% | 4,154 | 353 | 8.5% |

Confidential

### 10) 外部研究費（科学研究費、受託研究費等）採択実績

（単位：千円）

| No. | 年度 / 外部資金種別 | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 1 | 科学研究費補助金 | 64 | 84,292 | 73 | 102,638 | 65 | 85,129 |
| 2 | 共同研究 | 32 | 35,440 | 36 | 93,300 | 36 | 66,364 |
| 3 | 受託研究 | 19 | 90,416 | 13 | 41,235 | 22 | 67,468 |
| 4 | 研究助成金 | 8 | 10,595 | 6 | 7,500 | 13 | 12,330 |
| 5 | 奨学寄付金 | 14 | 8,600 | 12 | 5,180 | 13 | 7,793 |
| 6 | その他 | 23 | 84 | 19 | 255 | 32 | 10,715 |
| | 合計 | 160 | 229,427 | 159 | 250,108 | 181 | 249,799 |

### 11) 科学研究費採択実績

| 年度 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---|---|---|---|---|
| 対象教員数（人） | ① | 157 | 157 | 157 |
| 申請件数 | ② | 72 | 78 | 76 |
| 申請者比率 | ②/① | 45.9% | 49.7% | 48.4% |
| 総採択件数 | ③ | 64 | 73 | 65 |
| 採択者比率 | ③/① | 40.8% | 46.5% | 41.4% |
| 新規採択件数 | ④ | 9 | 20 | 18 |
| 新規採択率 | ④/② | 12.5% | 25.6% | 23.7% |
| 継続件数 | ⑤ | 55 | 53 | 47 |
| 交付額（千円） | ⑥ | 84,292 | 102,638 | 85,112 |
| 1件当たり交付額（千円） | ⑥/③ | 1,317 | 1,406 | 1,309 |

※短大教員及び学外研究員の応募・採択件数を含む

### 12) 地公体・公的機関研究費採択実績

| No. | 所属 | 氏名 | 契約先 | 研究課題・内容等 | 金額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 情報システム工学科 | 徳安　達士 | （国研）日本医療研究開発機構（AMED） | 外科手術のデジタルトランスフォーメーション：情報支援内視鏡外科手術システムの開発 | 27,169 |
| 2 | 生命環境化学科 | 奥田　賢一 | （国研）日本医療研究開発機構（AMED） | 【創薬支援推進事業・創薬総合支援事業（創薬ブースター）】メチシリン耐性黄色ブドウ球菌に対する新規抗菌薬の標的妥当性検証 | 6,600 |
| 3 | 生命環境化学科 | 奥田　賢一 | （国研）日本医療研究開発機構（AMED） | 【橋渡し研究プログラム(基礎・臨床一体型の持続可能な橋渡し研究支援拠点形成)】メチシリン耐性黄色ブドウ球菌に対するAMR抑制剤の開発 | 1,760 |
| 4 | 生命環境化学科 | 久保　裕也 | （国研）科学技術振興機構（JST） | 【SATREPS/東北大学主幹】バイポーラ膜電気透析による炭酸塩化技術の開発 | 1,950 |
| 5 | 情報工学科 | 山口　裕 | （国研）科学技術振興機構（JST） | 【未来社会創造事業】非線形・複雑系に着目した認知症のロバストネス数理モデルとそのハブ因子の解明 | 2,340 |
| 6 | 総合研究機構 | ― | （国研）科学技術振興機構（JST） | 【大学発新産業プログラムSTART】PARKSプログラム推進費 | 2,600 |

| No. | 所属 | 氏名 | 契約先 | 研究課題・内容等 | 金額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 総合研究機構 | ― | （国研）科学技術振興機構（JST） | 【大学発新産業プログラムSTART】PARKS/EDGE-PRIME推進費 | 9,452 |
| 8 | 総合研究機構 | ― | （国研）科学技術振興機構（JST） | 【大学発新産業創出基金】PARKSプログラム推進費 | 195 |
| 9 | 電気工学科 | 井上　昌睦 | （国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） | 航空機用先進システム実用化プロジェクト／次世代電動推進システム研究開発／高効率かつ高出力電動推進システム | 4,000 |
| 10 | 総合研究機構 | 永淵　修 | （国研）海洋研究開発機構（JAMSTEC） | 北極域研究加速プロジェクトArCSII「陸域課題：陸域生態系と凍土・周氷河環境の統合観測による物質循環過程の解明」 | 2,750 |
| 11 | 生命環境化学科 | 松山　清 | （国研）農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター | 次世代農業生産技術「Plant Drug Delivery System」の開発 | 2,650 |
| 12 | 電子情報工学科 | 近木　祐一郎 | 総務省 | 【SCOPE】潮位測定レーダにおける使用周波数狭帯域化時の潮位測定精度向上技術の研究開発 | 5,819 |
| 13 | 知能機械工学科 | 槇田　諭 | 経済産業省 | 「未踏的な地方の若手人材発掘育成支援事業費補助金（AKATSUKIプロジェクト）」 | 1,141 |
| 14 | 社会環境学科 | 上杉　昌也 | 国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所 | 避難促進と流域治水のための防災Go!の開発 | 2,963 |
| 15 | 社会環境学科 | 田井　明 | 国土交通省九州地方整備局 | 【BRIDGE】令和5年度「革新的な統合気象データを用いた洪水予測の高精度化」研究開発 | 6,546 |
| 16 | 社会環境学科 | 田井　明 | 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所 | 山間狭窄部における超過洪水に対する人的被害最小化のための方策に関する研究 | 2,860 |
| 17 | 社会環境学科 | 乾　隆帝 | 国土交通省九州地方整備局 | 大規模な洪水攪乱下での河川構造の複雑性の機能と河川生態系の保全・回復に関する研究 | 1,436 |
| 18 | 知能機械工学科 | 仙波　卓弥 | （公財）科学技術交流財団 | 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech）　世界初のガラス製両面微細マイクロレンズアレイを大量生産する超精密金型加工技術の開発 | 1,216 |
| 19 | 教養力育成センター | 楢﨑　兼司 | 福岡県篠栗町 | 「篠栗元気もん活動」共同事業 | 6,000 |
| 20 | 情報工学科 | 馬場　謙介 | 福岡県古賀市 | 令和5年度古賀市まちづくり実証実験「仮名加工情報データ解析事業」 | 2,990 |
| | 合計 | | | 20事業 | 92,437 |

### 13) 特許出願・登録案件一覧

**①令和5年度特許出願件数：12件**

**②令和5年度特許登録案件：8件**

| No. | 国 | 特許番号 | 登録日 | 発明の名称＜共有者＞ | 発明者　職位(R5) | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日本 | 特許第7262800号 | 2023/4/14 | 三次元画像生成システム、三次元画像生成方法、三次元画像生成プログラムおよび記録媒体 | 盧 存偉　教授 | 電子情報工学科 |
| 2 | 日本 | 特許第7279882号 | 2023/5/15 | 画像計測システム、画像計測方法、画像計測プログラムおよび記録媒体<br>＜3Dイメージ研究所＞ | 盧 存偉　教授 | 電子情報工学科 |
| 3 | 日本 | 特許第7383266号 | 2023/11/10 | オレフィン系樹脂多孔質体の製造方法<br>＜プライム・プラネットエナジー＆ソリューションズ（株）＞ | 松山　清　教授 | 生命環境化学科 |
| 4 | 日本 | 特許第7444396号 | 2024/2/27 | 三次元画像生成システム、三次元画像生成方法、三次元画像生成プログラムおよび記録媒体＜三和シヤッター工業（株）＞ | 盧 存偉　教授 | 電子情報工学科 |
| 5 | 米国 | US11,725,090 | 2023/8/15 | オレフィン系樹脂多孔質体の製造方法<br>＜プライム・プラネットエナジー＆ソリューションズ（株）＞ | 松山　清　教授 | 生命環境化学科 |
| 6 | 欧州 | EP4036163 | 2023/8/24 | | | |
| 7 | 中国 | ZL202210111365.6 | 2023/11/10 | | | |
| 8 | 中国 | ZL202280017835.0 | 2024/3/12 | ニオブ、及びタンタルの液化処理方法、ニオブ溶液及びタンタル溶液の製造方法 | 久保 裕也 准教授 | 生命環境化学科 |

### 14) 総合研究機構主催研究講演（外部研究者等）一覧

（単位：人）

| No. | 主催部門 | 講演題目 | 講演者 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 情報科学研究所 | Brain works principle followed by neural information processing | East China University of Science and Technology Prof. Rubin Wang | 14 |
| 2 | 総合研究機構 | FIT大学発スタートアップビジネスプランPrePITCH | 本学電子情報工学科教授<br>盧 存偉 | 27 |
| 3 | エレクトロニクス研究所 | ソーラーシェアリング農業LED利用植物工場による次世代の農業システム | 宮崎大学農学部植物生産環境化学科助教　霧村雅昭 | 17 |
| 4 | エレクトロニクス研究所 | Advancements in CS STEM Education | オレゴン州立大学、Firia Labs Senior Instructor Matt Shuman | 14 |
| 5 | 情報科学研究所 | Causal Inference: Effects of Causes & Causes of Effects | 北京工商大学　教授（名誉教授）　耿 直（GENG Zhi） | 13 |
| 6 | 環境科学研究所 | 第18回環境科学研究所研究発表会特別講演 | 環境省九州地方環境事務所<br>福岡事務所 自然保護官<br>鈴木規慈 | 19 |
| 7 | 総合研究機構 | 「新生・シリコンアイランド九州」を巡る最近の動向と半導体人材育成の取組について | 経済産業省 九州経済産業局 地域経済部情報政策課課長　田口賀徳 | 70 |
| | 合計 | | 7件 | 174 |

### 15) 総合研究機構主催研究成果発表会・技術講習会（学内研究者）一覧

（単位：人）

| No. | 主催部門 | 種別 | 内容 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | エレクトロニクス研究所 | 技術講習会 | ・X線回折装置（XRD）<br>＜講師：生命環境化学科　北山　幹人教授＞<br>・電界放出形走査電子顕微鏡（FE-SEM）<br>＜講師：電気工学科　井上　昌睦教授、総合研究機構 宋　麗香職員＞　　等 | 331 |
| 2 | 情報科学研究所 | 研究成果発表会 | 第3回　研究コミュニティ交流会 | 36 |
| 3 | 環境科学研究所 | 研究成果発表会 | 第18回 環境研究発表会 | 20 |
| 4 | 総合研究機構 | 研究成果発表会 | 総合研究機構研究成果報告会 | 106 |

### 16) 総合研究機構の研究支援予算制度（5年度予算額：21,496千円）

（単位：千円）

| No. | 制度名称 | 制度の概要等 | 件数 | 実績 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 研究スタートアップ支援 | 新任教員やライフイベント復帰教員等の円滑な研究スタートアップをサポート | 5 | 2,434 |
| 2 | 若手卓越研究支援 | 45歳以下の若手研究者の卓越した研究創出をサポート | 4 | 3,364 |
| 3 | 研究高度化支援 | 研究者グループの卓越した研究創出や大型外部資金採択に向けた研究活動をサポート（2年間） | 1 | 7,990 |
| 4 | 科研費リトライ支援 | 科研費申請・採択に向けた研究活動をサポート | 5 | 3,173 |
| 5 | 学術論文作成支援 | 学術論文数増加に向けた関連経費補助（サポート） | 33 | 1,480 |
| 6 | 研究計画書作成支援 | 外部資金獲得に向けた研究計画書作成等をサポート | 18 | 1,712 |
| 7 | 学術図書出版支援 | 研究高度化及び研究成果の社会還元に向けた学術図書出版経費の一部補助（サポート） | 1 | 600 |
| | 合計 | 7事業 | 67 | 20,753 |

### 17) 直近10カ年導入機器一覧：32計測機器等

| No. | 計測機器名 | No. | 計測機器名 |
|---|---|---|---|
| **＜エレクトロニクス研究所＞** | | 17 | フーリエ変換赤外分光装置（FT-IR） |
| 1 | 走査電子顕微鏡（SEM） | 18 | 研磨機（低周速ドクターラップ） |
| 2 | イオンビームスパッタ装置 | 19 | 電界放出形走査電子顕微鏡（FE-SEM） |
| 3 | UV放射照度計 | 20 | 超高速液体クロマトグラフ（UHPLC） |
| 4 | ワイヤーボンダー | 21 | 誘導結合プラズマ発光分光分析装置（ICP） |
| 5 | LC用蛍光検出器 | **＜情報科学研究所＞** | |
| 6 | 蛍光顕微鏡 | 22 | ベクトルネットワークアナライザ |
| 7 | 全窒素計（TN） | 23 | MRヘッドマウントディスプレイHoloLens2 |
| 8 | マスクレス露光装置 | 24 | MRヘッドマウントディスプレイHoloLens2 |
| 9 | ハイボリュームエアサンプラー | 25 | 力覚ディスプレイ Touch USB |
| 10 | 物理特性測定システム（PPMS） | 26 | 視線追跡システム　グラス |
| 11 | 電子線マイクロアナライザ（EPMA） | 27 | AirMagnet |
| 12 | 三次元光学プロファイラー | 28 | 視線追跡システム　スペクトラム |
| 13 | 顕微ラマン分光装置 | 29 | 電波暗室 |
| 14 | マルチコーター | 30 | VLSI設計研究システム |
| 15 | 真空乾燥機 | 31 | MRヘッドマウントディスプレイHoloLens1 |
| 16 | 原子間力顕微鏡（AFM） | 32 | モーションキャプチャー |

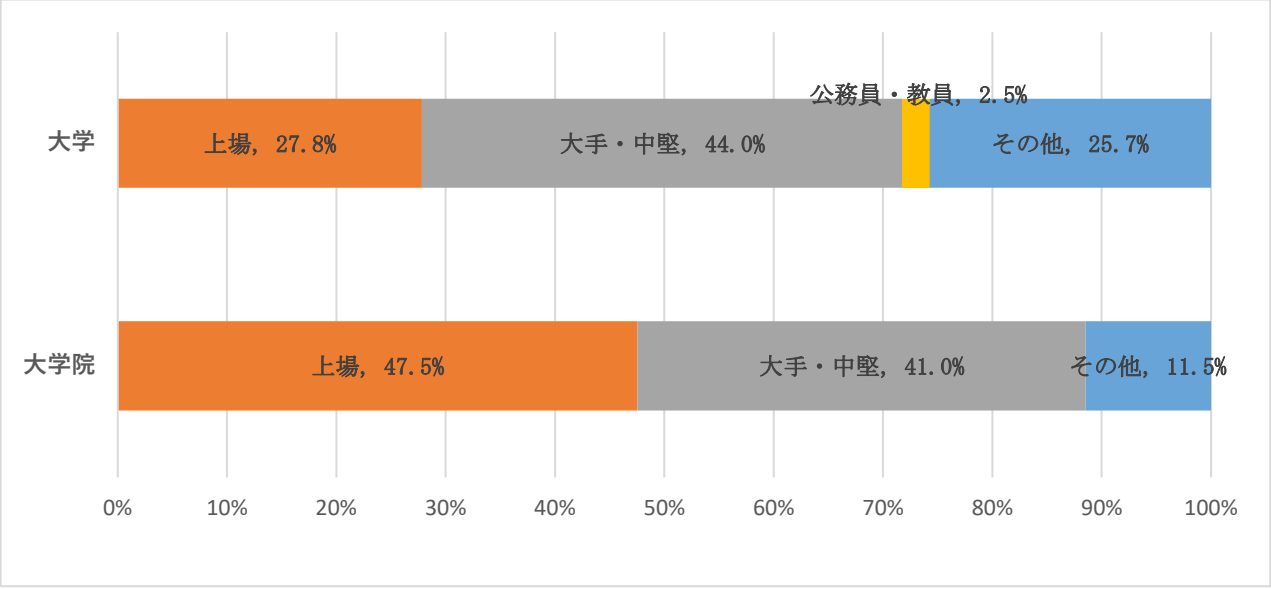
## 18) 自治体・企業・教育機関等との連携協定一覧（締結年月日順）27件（令和6年3月31日現在）

| No. | 協定名 | 協定先 | 締結年月日 |
|---|---|---|---|
| 1 | 株式会社福岡銀行及び株式会社ふくおかフィナンシャルグループと福岡工業大学との産学連携協力に関する協定 | ・株式会社福岡銀行<br>・株式会社ふくおかフィナンシャルグループ | H20.05.23 |
| 2 | 株式会社西日本シティ銀行と福岡工業大学との産学連携協力に関する協定 | ・株式会社西日本シティ銀行 | H20.07.28 |
| 3 | 東部地域大学連携に関する協定 | ・九州産業大学<br>・福岡女子大学 | H23.11.09 |
| 4 | 国立大学法人九州工業大学と福岡工業大学との連携に関する協定 | ・国立大学法人九州工業大学 | H24.05.01 |
| 5 | 株式会社西日本新聞社と学校法人福岡工業大学との包括的連携協力に関する協定 | ・株式会社西日本新聞社 | H24.09.26 |
| 6 | 福岡工業大学と株式会社九電工との研究開発における包括的な連携推進に関する協定 | ・株式会社九電工 | H24.11.27 |
| 7 | 新宮町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定 | ・新宮町 | H26.03.20 |
| 8 | 古賀市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定 | ・古賀市 | H26.07.23 |
| 9 | 株式会社正興電機製作所と福岡工業大学との包括的連携推進に関する協定 | ・株式会社正興電機製作所 | H26.07.23 |
| 10 | 長崎大学、熊本県立大学及び福岡工業大学との環境分野における包括的連携協力における協定 | ・長崎大学<br>・熊本県立大学 | H26.12.04 |
| 11 | 学校法人福岡工業大学と一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟との包括的連携に関する協定 | ・一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟 | H27.02.15 |
| 12 | 福岡和白病院、創生会及び福岡工業大学の包括的連携に関する協定 | ・社会医療法人財団池友会福岡和白病院<br>・社会福祉法人創生会 | H27.03.05 |
| 13 | 中村学園大学短期大学部と福岡工業大学短期大学部との交流協定 | ・中村学園大学短期大学部 | H27.05.25 |
| 14 | 北九州工業専門学校、大分県立工科短期大学校及び福岡工業大学短期大学部との包括的連携協力 | ・北九州工業専門学校<br>・大分県立工科短期大学校 | H27.07.10 |
| 15 | 芝浦工業大学と福岡工業大学との連携・協力に関する協定 | ・芝浦工業大学 | H28.10.07 |
| 16 | 長崎県島原市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定 | ・島原市 | H30.10.12 |
| 17 | 福岡未来創造プラットフォームに関する包括連携協定 | ・福岡市、・福岡商工会議所<br>・（一社）福岡市中小企業経営者協会<br>・九州産業大学、九州大学、サイバー大学、純真学園大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫女学園大学、日本経済大学、福岡歯科大学、福岡女子大学、福岡大学、令和健康科学大学 | R1.05.09<br>(R6.04.01<br>加盟機関更新) |
| 18 | 篠栗町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定 | ・篠栗町 | R2.08.07 |
| 19 | 国立大学法人大分大学と学校法人福岡工業大学との包括連携・協力協定 | ・大分大学 | R2.08.25 |
| 20 | 災害時における施設等の利用協力に関する協定 | ・福岡市 | R3.12.01 |
| 21 | 福岡工業大学と福岡県警察とのサイバーセキュリティに関する協定 | ・福岡県警察本部 | R4.06.28 |
| 22 | 古賀市と福岡工業大学との仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定 | ・古賀市 | R4.11.07 |
| 23 | 福岡教育大学と福岡工業大学との教員養成に関する連携協定 | ・福岡教育大学 | R6.02.21 |
| 24 | 法政大学と福岡工業大学との連携協力に関する協定 | ・法政大学 | R6.3.18 |
| 25 | 福岡工業大学と神田女学園中学校高等学校との高大連携に関する合意 | ・神田女学園中学校高等学校 | R6.3.21 |
| 26 | 福岡市災害ボランティアセンター設置に関する協定 | ・福岡市<br>・社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 | R6.3.25 |
| 27 | 株式会社共和電業と福岡工業大学との包括連携・協力協定 | ・株式会社共和電業 | R6.3.28 |

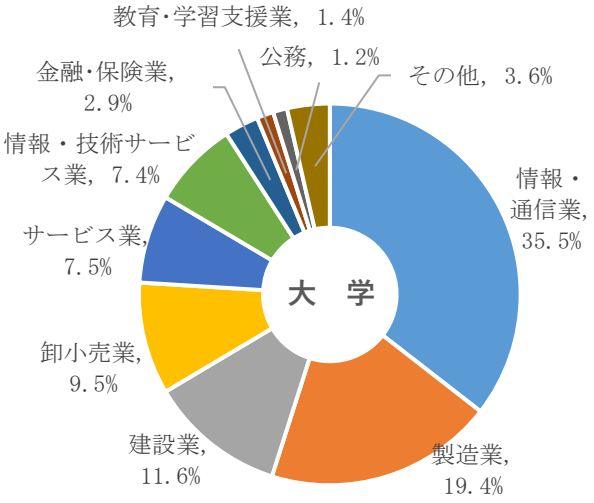
## 19) 就職率・実就職率（全体・学科別）

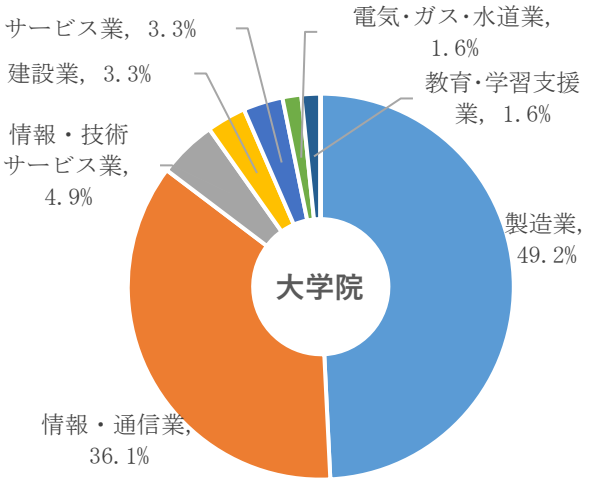
| 学部・学科 | R2年3月卒業生 | | R3年3月卒業生 | | R4年3月卒業生 | | R5年3月卒業生 | | R6年3月卒業生 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 就職率 | 実就職率 | 就職率 | 実就職率 | 就職率 | 実就職率 | 就職率 | 実就職率 | 就職率 | 実就職率 |
| **大学** | **99.9%** | **97.0%** | **99.5%** | **95.7%** | **99.9%** | **96.6%** | **99.8%** | **98.1%** | **99.6%** | **98.0%** |
| **工学部** | **100.0%** | **98.1%** | **99.7%** | **96.7%** | **100.0%** | **98.5%** | **99.7%** | **98.4%** | **99.7%** | **98.6%** |
| 電子情報工学科 | 100.0% | 98.7% | 100.0% | 98.5% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 97.6% | 100.0% | 98.5% |
| 生命環境化学科 | 100.0% | 96.6% | 98.6% | 93.3% | 100.0% | 94.9% | 100.0% | 97.2% | 97.1% | 97.1% |
| 知能機械工学科 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 98.1% | 100.0% | 98.9% | 99.0% | 99.0% | 100.0% | 98.9% |
| 電気工学科 | 100.0% | 97.1% | 100.0% | 96.6% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| **情報工学部** | **100.0%** | **97.1%** | **99.4%** | **96.4%** | **99.7%** | **96.4%** | **99.7%** | **98.6%** | **99.7%** | **98.6%** |
| 情報工学科 | 100.0% | 97.7% | 100.0% | 97.8% | 99.3% | 97.8% | 100.0% | 97.6% | 99.2% | 97.7% |
| 情報通信工学科 | 100.0% | 98.5% | 100.0% | 97.3% | 100.0% | 91.3% | 100.0% | 98.8% | 100.0% | 97.6% |
| 情報システム工学科 | 100.0% | 95.0% | 98.7% | 96.2% | 100.0% | 98.8% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| システムマネジメント学科 | 100.0% | 96.7% | 98.5% | 92.8% | 100.0% | 96.8% | 98.4% | 98.4% | 100.0% | 100.0% |
| **社会環境学部** | **99.4%** | **94.5%** | **99.4%** | **92.2%** | **100.0%** | **93.3%** | **100.0%** | **96.7%** | **100.0%** | **95.5%** |
| 社会環境学科 | 99.4% | 94.5% | 99.4% | 92.2% | 100.0% | 93.3% | 100.0% | 96.7% | 100.0% | 95.5% |
| **大学院** | **100.0%** | **97.7%** | **98.2%** | **90.2%** | **100.0%** | **93.6%** | **95.4%** | **92.5%** | **100.0%** | **95.3%** |

## 20) 規模別就職状況

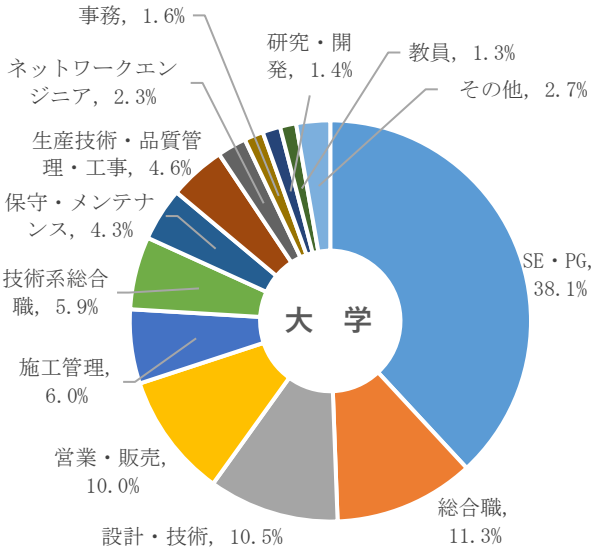


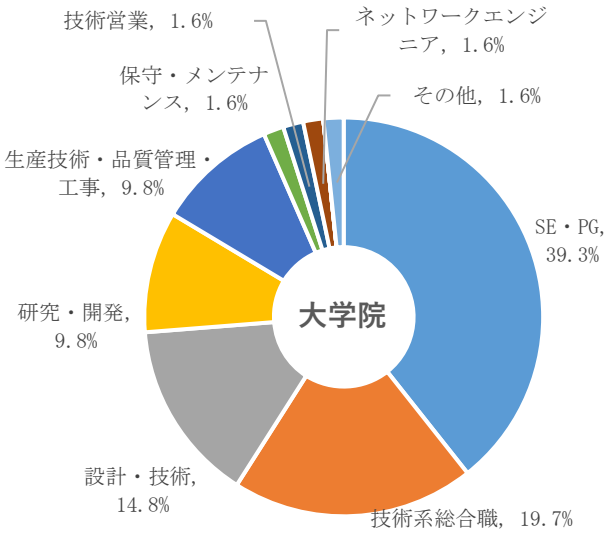
## 21) 業種別就職状況



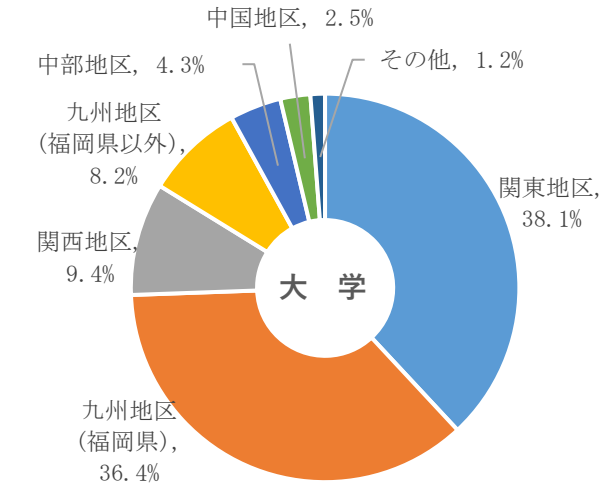



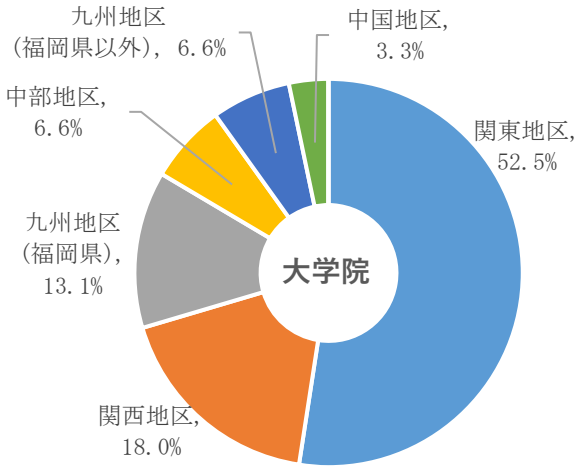

## 22) 職種別就職状況




## 23) 地区別就職状況



### 24) グローバル化教育施策一覧

| 教育施策の区分 | 個別教育施策 | |
|---|---|---|
| 英語教育支援 | 正課授業での教員補助（「異文化理解」「シスマネ基礎」科目） | |
| | 留学プログラム事前レッスン | |
| | プライベート・グループレッスン、論文校正 | |
| | 英語学習イベント | |
| | コンテスト（Speech/Writing） | |
| ハイブリッド学習（海外＋オンライン） | オンライン留学・海外留学による協働学習・英語学習 | |
| | グローバル人材育成プログラム：Global Challenge Program（GCP） | |
| | Exchange Program - グローバルPBL（台湾） | |
| 海外派遣(Outbound) | 短期語学研修（アジア） | |
| | INTER（フィリピン・セブ島）語学研修 | |
| | 短期語学研修（カナダ） | |
| | タイ短期派遣研修（タイ） | |
| | 学部・研究室交流派遣（要望に応じて） | |
| | 長期学生支援制度（協定校・私費） | |
| 協定校受入れ事業(Inbound) | 短期・サマープログラム（中国・タイ・台湾） | 中国：青島・魯東、タイ：キングモンクット工科大学ラカバン校、台湾：高雄科技大 |
| | 大学・大学院入学支援（中国・タイ） | 中国：南京・青島、タイ：キングモンクット工科大学ラカバン校 |
| | 科目等履修生受入れ（中国・韓国・タイ） | 中国：大連理工大学、韓国：亜洲・慶星・啓明、タイ：キングモンクット工科大学ラカバン校 |
| | 日本語学習支援 | 日本語能力試験対策レッスン/学習相談/スピーチコンテスト/作文集の刊行 |
| オンラインプログラム | オンライン英会話 | |
| | オンライン留学（フィリピン・セブ島）Brighture/CPILS | |
| | VALE Program - 言語・文化交流プログラム(南フロリダ大学) | |
| グローバルビジョンの実質化 | 国際適応力の指標確立 | |
| | 英語での教育高度化 | |
| | グローバル企業への就職支援強化 | |
| | グローバルマインドの醸成（セミナー・講演会・オンライン） | FIT Global Alumni Network |
| | 協定校の新規開拓 | |
| | 正規留学生獲得ネットワーク構築 | |
| | 正規留学生獲得・留学生別科運営・ネットワーク構築 | |
| | 地域のグローバル化促進 | |

### 25) 国際交流実績一覧

#### ①協定校から当年度に受け入れた留学生

| 大学名 | 課程 | 学生数 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 青島科技大学 | 修士課程 | 2名 | 4＋2国際連携プログラム受入 |
| 南京理工大学 | 修士課程 | 1名 | ダブルディグリー制度受入 |
| キングモンクット工科大学ラカバン校 | 修士課程 | 1名 | ジョイントプログラム(FBK経由) |

#### ②協定校に当年度に送り出した留学生

| 大学名 | 課程 | 学生数 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 慶星大学校（韓国） | 科目等履修生 | 1名 | 長期留学プログラム |
| 国立高雄科技大学（台湾） | 科目等履修生 | 1名 | 同上 |

#### ③短期学生交換プログラム等への参加人数

| 大学、渡航先等 | プログラム名称、受入形態 | 学生数 | 期間 |
|---|---|---|---|
| 亜洲大学校（韓国） | 科目等履修生 | 2名受入 | 6か月間 |
| | 工学部環境安全工学科教員・学生訪問 | 14名受入 | 1日間 |
| 慶星大学校（韓国） | 科目等履修生 | 4名受入 | 6か月間 |
| 青島科技大学（中国） | JSTさくらサイエンス招へいプログラム | 5名受入 | 6日間 |
| 魯東大学（中国） | JSTさくらサイエンス招へいプログラム | 3名受入 | 6日間 |
| 国立高雄科技大学（台湾） | Virtual Exchange Program | 27名派遣 | 13日間 |
| | Virtual Exchange Program | 22名受入 | 13日間 |
| | 台湾グローバルPBL | 16名派遣 | 7日間 |
| | 福岡研修 | 12名派遣 | 1週間 |
| | 福岡研修 | 12名受入 | 1週間 |
| | 科目等履修生 | 8名受入 | 6か月間 |
| | 大学院研修生 | 1名受入 | 1年間 |
| 宣蘭大学（台湾） | 電子情報工学科グローバルPBL | 9名派遣 | 12日間 |
| 明新科技大学（台湾） | 視察 | 6名派遣 | 4日間 |
| キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ） | KMITL School of Business 短期日本研修 | 14名受入 | 2日間 |
| | サマープログラム（日本語学科学生） | 10名受入 | 20日間 |
| | 同上（工学部生） | 6名受入 | 27日間 |
| | KMITL 工学部 Industrial Engineering 学科 Industrial Engineering and Logistics Management Program | 5名受入 | 26日間 |
| | KMITL College of Innovation and Industrial Management 短期日本研修 | 11名受入 | 4日間 |
| | Computer Innovation Engineering Field Trip | 11名受入 | 1日間 |
| | 日本語別科 ジョイントプログラム | 5名受入 | 1年間 |
| | Biomedical Engineering 研修生（システムマネジメント学科） | 5名派遣 | 8日間 |
| | タイ短期派遣研修 | 2名受入 | 2か月間 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| キングモンクット工科大学ラカバン校 | Computer Innovation Engineering Field Trip（タイ短期派遣研修（電子情報工学科）） | 10名派遣 | 15日間 |
| | 科目等履修生 | 10名派遣 | 15日間 |
| | 科目等履修生 | 1名受入 | 6か月間 |
| 泰日工業大学（タイ） | 泰日工業大学クロスカルチャープログラム | 2名派遣 | 11日間 |
| マラ工科大学（マレーシア） | 知能機械工学科グローバルPBL | 9名派遣 | 13日間 |
| シンガポール大学（シンガポール） | 社会環境学部ECO-STEP | 12名派遣 | 5日間 |
| Center for Premier International | CPILS夏季オンライン留学プログラム | 1名派遣 | 4週間 |
| Language Studies (フィリピン) | 同上　冬季プログラム | 11名派遣 | 4週間 |
| Brighture English Academy （フィリピン） | Brighture オンライン留学プログラム | 2名派遣 | 3週間 |
| ハワイ大学マノア校（アメリカ） | Global Challenge Program 1期生海外研修 | 8名派遣 | 8日間 |
| 南フロリダ大学（アメリカ） | Virtually Assisted Language Exchange Program（FIT VALE）オンライン協働プログラム | 4名派遣 | 1日間 |
| フロリダアトランティック大学（アメリカ） | 福岡夏季研修 | 19名受入 | 1日間 |
| センテニアルカレッジ（カナダ） | 夏季海外英語研修 | 23名派遣 | 1か月間 |
| ブリティッシュコロンビア大学（カナダ） | 電気工学科グローバルPBL | 5名派遣 | 8日間 |
| 学生派遣・受入人数合計（教職員の派遣は除く　*5） | | 172名 派遣<br>155名 受入 | |

*5　教職員間の派遣・受入の当年度実績（オンラインを含む）　157名(延べ数)(昨年度50名)

### 26) オンライン英会話プログラム（Hanasoプログラム）への参加状況

| コース | 学部 | 大学院 | 短大 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 夏休み1か月コース | 13 | 2 | 0 | 15 |
| 春休み1か月コース | 15 | 2 | 0 | 17 |
| Advanced対象2か月コース | 22 | 0 | 0 | 22 |
| 合計 | 50 | 4 | 0 | 54 |

### 27) 学術交流の使節団参加状況

| 使節団名称 | 国名 | 主催 | 来学者数 | 期間 |
|---|---|---|---|---|
| 福岡県・デリー準州友好提携15周年記念訪問団への派遣 | インド | 福岡県 | 4名 | 3日間 |
| ヴィンロン省人民委員会表敬訪問団の受入 | ベトナム | ベトナム・ヴィンロン省自治政府 | 7名 | 1日間 |
| 福岡県・ハノイ市友好提携15周年記念訪問団への派遣 | ベトナム | 福岡県 | 5名 | 1日間 |

## 28) 国外交流協定大学一覧

：R5年度新規協定締結大学　　**R6. 3月現在：38大学・機関**

| 国・地域等 | No. | 協定大学名 | | | 所在地 | 締結年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 韓国 | 1 | 私立 | 慶星大学校 | Kyung Sung University | 釜山市 | 1981. 12. 5 |
| | 2 | 私立 | 亜洲大学校 | Ajou University | 水原市 | 1990. 10. 1 |
| | 3 | 私立 | 啓明大学校工学部 | Keimyung University | 大邱市 | 2009. 11. 3 |
| | 4 | 私立 | 東國大学校WISEキャンパス | Dongguk University WISE | 慶州市 | 2023. 9. 1 |
| | 5 | 国立 | 釜慶大学校 | Pukyong National University | 釜山市 | 2023. 11. 8 |
| | 6 | 私立 | 東亜大学校 | Dong-A University | 釜山市 | 2023. 12. 18 |
| | 7 | 国立 | 昌原大学校 | Changwon National University | 慶尚南道昌原市 | 2023. 12. 18 |
| 中国 | 8 | 国立 | 大連理工大学 | Dalian Univ. of Technology | 大連市 | 1988. 2. 24 |
| | 9 | 国立 | 南京理工大学 | Nanjing University of Science and Technology | 南京市 | 1993. 12. 25 |
| | 10 | 公立 | 青島科技大学 | Qingdao Univ. of Science and Technology | 青島市 | 2008. 4. 18 |
| | 11 | 公立 | 北華大学 | Beihua University | 吉林市 | 2007. 10. 29 |
| 台湾 | 12 | 国立 | 国立高雄科技大学 | National Kaohsiung University of Science and Technology | 高雄市 | 2017. 7. 27 |
| | 13 | 私立 | 元智大学 | Yuan Ze University | 桃園市 | 2022. 8. 30 |
| | 14 | 国立 | 国立東華大学 | National Dong Hwa University | 花蓮県 | 2023. 7. 21 |
| | 15 | 国立 | 国立宜蘭大学 | National Ilan University | 宜蘭市 | 2023. 7. 28 |
| | 16 | 私立 | 明新科技大学 | Minghsin Unversity of Science and Technology | 新竹県 | 2023. 12. 25 |
| タイ | 17 | 王立 | キングモンクット工科大学ラカバン校 | King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang | バンコク都 | 2008. 3. 13<br>2012. 10. 31（工学部覚書） |
| | 18 | 国立 | チュラロンコン大学理学部 | Chulalongkorn University | バンコク都 | 2009. 2. 16 |
| | 19 | 私立 | 泰日工業大学 | Thai-Nichi Institute of Technology | バンコク都 | 2017. 4. 3 |
| | 20 | 王立 | キングモンクット工科大学トンブリ校 | King Mongkut's University of Technology Thonburi | バンコク都 | 2023. 3. 29 |

| 国・地域等 | No. | 協定大学名 | | | 所在地 | 締結年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| マレーシア | 21 | 国立 | マラ工科大学 | MARA University of Technology | ペナン州 | 2023. 3. 27 |
| インドネシア | 22 | 国立 | マラン大学 | State University of Malang | マラン市 | 2023. 7. 10 |
| ベトナム | 23 | 国立 | ダナン大学工科大学 | The University of Danang-University of Science and Technology | ダナン市 | 2023. 10. 10 |
| | 24 | 国立 | ハノイ工科大学 | Hanoi University of Science and Technology | ハノイ市 | 2024. 1. 22 |
| | 25 | 国立 | ホーチミン市工科大学 | Ho Chi Minh City University of Technology | ホーチミン市 | 2024. 1. 25 |
| シンガポール | 26 | 国立 | テマセク・ポリテクニック | Temasek Polytechnic | シンガポール | 2024. 02. 15 |
| 米国 | 27 | 公立 | フットヒルカレッジ | Foothill College | カリフォルニア州ロスアルトスヒルズ | 1992. 6. 12 |
| | 28 | 公立 | カリフォルニア州立大学イーストベイ校 | California State University, East Bay | カリフォルニア州ヘイワード | 2003. 4 |
| | 29 | 公立 | サンノゼ州立大学 | San Jose State University | カリフォルニア州サンノゼ | 2015. 8. 6 |
| | 30 | 私立 | セントメアリーズカレッジカリフォルニア | Saint Mary's College of California | カリフォルニア州モラガ | 2018. 1. 16 |
| | 31 | 公立 | ハワイ大学マノア校 | University of Hawai‘i at Mānoa | ハワイ州ホノルル | 2023. 8. 8 |
| | 32 | 公立 | サンフランシスコ州立大学 | San Francisco State University | カリフォルニア州サンフランシスコ | 2023. 12. 6 |
| カナダ | 33 | 公立 | センテニアルカレッジ | The Centennial College of Applied Arts & Technology | オンタリオ州トロント | 2023. 2. 14 |
| | 34 | 公立 | ブリティッシュコロンビア大学応用科学部 | The University of British Columbia | ブリティッシュコロンビア州バンクーバー | 2023. 8. 10 |
| 豪州 | 35 | 公立 | フェデレーション大学オーストラリア | Federation University Australia | ヴィクトリア州バララット | 2001. 12. 20<br>2015. 12. 18 |
| アルバニア | 36 | 公立 | ティラナ工科大学 | Polytechnic University of Tirana | ティラナ | 2009. 2. 26 |
| イタリア | 37 | 国立 | ナポリ・フェデリコ2世大学 | University of Naples Federico II | ナポリ | 2018. 9. 10 |
| インド | 38 | | デリー準州教育委員会 | Delhi Board of School Education | デリー | 2023. 11. 20 |

### 29) 社会連携PBLプログラム一覧

◆地域課題の解決をテーマにプロジェクト型で学生のグループ活動によって課題解決提案または実行を伴う取組を掲載している。

| No. | 連携先 | 活動名 | 活動授業 | 課外 | 担当教職員 | 所属 | 参加人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 福岡市（環境局） | ごみ減量に関する提案発表 | フィールドワーク（3年次） | | 田中<br>渡邉<br>陳 | 社会環境 | 33 |
| 2 | 福岡市 | 「福工大周辺地域」の資源と魅力 | 地域創生論（1年次） | | 坂本 | 教養力育成センター | 217 |
| 3 | 古賀市 | シスマネPBL古賀市　工場見学ツアー、企業の課題解決、ふるさと納税 | ゼミナールⅡ（3年次） | | 小林 | システムマネジメント | 19 |
| 4 | 古賀市 | プラズマスイートコーン | 卒研 | | 北﨑 | 電気工学 | 7 |
| 5 | 古賀市 | 新規デジタルハザードマップへの協力 | ゼミナール | | 森山<br>上杉 | 社会環境 | 後日<br>HP公開 |
| 6 | ホーホゥ木藤様・古賀市 | 古賀駅西口開発 | ゼミナール（2・3年生） | | 上杉 | 社会環境 | 13 |
| 7 | 新宮町 | シスマネPBL新宮町PJ　小学生向けICT教育 | ゼミナールⅡ（3年次） | | 井口 | システムマネジメント | 7 |
| 8 | 新宮町 | 新宮町水生生物調査PBL | ゼミナール（2年） | | 乾 | 社会環境 | 9 |
| 9 | 篠栗町 | 地域創生PBL（2022年まで地域創生入門） | 地域創生入門（1，2年次） | | 楢﨑<br>坂本 | 教養力育成センター | 32 |
| 10 | 篠栗町 | 介護予防PBL　スマホ教室の実施（課外） | 課外活動 | ○ | 学生<br>(指導:楢崎) | 教養力育成センター | 5 |
| 11 | 篠栗町 | 野球教室PBL | 課外活動 | ○ | 山本<br>監督 | 硬式野球部 | 50 |
| 12 | 福岡県警 | シスマネPBL県警PJ | ゼミナールⅡ（3年次） | | 藤岡 | システムマネジメント | 5 |
| 13 | 大学<br>硬式野球部 | シスマネPBLスポーツPJ | ゼミナールⅡ（3年次） | | 藤岡 | システムマネジメント | 5 |
| 14 | 福岡未来創造PF・香椎商工連盟 | 地域創生PBL：商店街（香椎商店街課題） | 課外活動 | ○ | 武藤<br>藤原 | 社会連携センター | 5 |
| 15 | 福岡未来創造PF・福津市 | 地域創生PBL：地域創生ワークショップ（福津市域内関係人口課題） | 課外活動 | ○ | 山田<br>藤原 | 社会連携センター | 5 |
| | | | | | | 本学学生参加人数（正課） | 347 |
| | | | | | | 同上（課外） | 65 |
| | | | | | | 合計 | 412 |
| | | | | | | 取組件数 | 15件 |

## 30) 社会連携関連行事の開催状況

| 月 | 内容 | 主催・共催（太字：本学所管部署等） |
|---|---|---|
| R5 | 5校合同スプリングコンサート | **城東高校吹奏楽部** |
| 4 | 福岡クラリネッティストグループ演奏会 | 福岡くらり・**吹奏楽団** |
| 5 | 博多青松高校通信制勉強会 | **入試広報課** |
| | 和白校区壮年ソフトボール大会 | 和白公民館 |
| | 少林寺拳法連盟新入生交流会 | 九州学生少林寺拳法連盟 |
| | 吹奏楽団スプリングコンサート | **吹奏楽団** |
| | ガールスカウト福岡県連盟　定時総会 | （一社）ガールスカウト福岡県連盟 |
| 6 | ＮＨＫ杯高校放送コンテスト県大会 | 福岡県高等学校芸術・文化連盟 |
| | 城東杯　中学生剣道練成会 | **城東高校** |
| | チームビルディング研修 | **教養力育成センター** |
| | ビジネス計算実務検定試験研修会 | 福岡県高等学校商業教育研究部会 |
| 7 | 七夕コンサート | **城東高校吹奏楽部** |
| | 九州インカレ　バレー競技 | 九州地区大学体育協議会 |
| | 長期インターンシップ勉強会 | **社会環境学科** |
| | 宇美商業高校ビジネス計算実務検定試験勉強会 | **入試広報課** |
| | 城東高校　女子バレー部強化練習会 | 福岡県バレーボール協会 |
| | ガールスカウト福岡県連盟　成人研修会 | （一社）ガールスカウト福岡県連盟 |
| | 城東高校　中学校放送コンクール | **城東高校** |
| | 少林寺拳法連盟立合評価法講習会 | 九州学生少林寺拳法連盟 |
| 8 | 弓道部大会 | **大学弓道部** |
| | 福岡県教育連盟講師研修会 | 福岡県教育連盟 |
| | サイエンスフェスタ2023in FIT | **モノづくりセンター** |
| | 長期インターンシップ発表会 | **社会環境学科** |
| | 玄界高校夏季集中学習会 | **入試広報課** |
| 9 | 福岡地区定時制通信制高等学校生徒生活体験発表会 | **入試広報課** |
| | 長期インターンシップ発表会 | **社会環境学科** |
| | 福岡県高等学校英語スピーチコンテスト | 福岡県高等学校英語教育研究部会 |
| 10 | 全日本ロボット相撲　九州大会 | ロボット相撲大会事務局 |
| | 道雪会　文化講演会 | 道雪会 |
| | 長期インターンシップ発表会 | **社会環境学科** |
| | 認知症に関する講座 | 福岡市東区保健福祉課 |
| | 福岡県高等学校英語教育研究部会ディベート大会 | 福岡県高等学校英語教育研究部会 |
| 11 | 日本管打楽器ソロコンテスト福岡予選 | 福岡吹奏楽連盟・**城東高校吹奏楽部** |
| | 長期インターンシップ企業交流会 | **社会環境学科** |
| | 長期インターンシップ映画製作上映会 | **社会環境学科** |
| | ビジネス計算実務検定試験研修会 | 福岡県高等学校商業教育研究部会 |
| | 認知症に関する講座　声かけ訓練 | 福岡市東区保健福祉センター |
| | 新宮東小学校来校（模擬講義） | **社会連携センター** |
| | 高文連自然科学部門研究発表大会 | 福岡県高等学校芸術・文化連盟 |
| | 高文連自然科学部門ポスター発表大会 | 福岡県高等学校芸術・文化連盟 |
| 12 | 九州アプリチャレンジキャラバンコンテスト | ㈱学びと成長仕組みデザイン研究所 |
| | 長期インターンシップ発表会 | **社会環境学科** |
| | 博多青松高校通信制勉強会 | **入試広報課** |
| | 香椎高校勉強会 | **入試広報課** |
| | 九州学生少林寺拳法連盟全九州学生大会 | 九州学生少林寺拳法連盟 |
| | 城東高校ダンス部ダンスフェスティバル | **城東高校ダンス部** |
| | 福岡県教育連盟講師研修会 | 福岡県教育連盟 |
| | 星槎高等学校スポーツ大会 | **管財課** |
| | 大学・高校合同クリスマスコンサート | **大学事務局各課・城東高校** |
| R6 | 大学入学共通テスト | （独）大学入試センター |
| 1 | 工業クラブ連盟生徒研究発表会 | 福岡県高等学校工業クラブ連盟 |
| 2 | 西日本新聞コミュニケーション大賞表彰式 | **入試広報課** |
| | 宇美商業高校　教育成果発表会 | **入試広報課** |
| | ガールスカウト活動報告会 | （一社）ガールスカウト福岡県連盟 |
| | 大学吹奏楽団定期演奏会 | **大学吹奏楽団** |
| 3 | 2024年度課題曲講習会 | 九州大学吹奏楽連盟 |
| | 城東高校吹奏楽部コンサート | **城東高校吹奏楽部** |

### 31) 社会連携活動の取組状況及び成果一覧

| 活動区分 | 取組名称等(()内は連携先) | 取組状況及び当年度の成果等 |
|---|---|---|
| 地域環境の保全 | 川や海の水生生物調査PBL(新宮町) | 新宮町および相島の海・河川を中心に、町内の生物の生息状況を調査し、水生生物の保全について検討 |
| | ごみの減量推進の課題解決策提案のための調査(福岡市) | 「フィールドワーク」科目において、9グループ(33名)が、福岡市環境局職員に課題解決策の提案発表を実施 |
| | 東区花火大会清掃のボランティア活動の実施(香椎商工会) | 学生35名が、当日の設営・運営活動、警備活動に参加し、翌日は清掃活動を実施 |
| 教育・文化の振興 | 小学校ICT体験授業の実施(新宮町・那珂川市) | 「人間とコンピューターのお互いの役割を知ろう」をテーマに、講義・体験授業を実施 |
| | 「古賀市子どもわくわくフェスタ」に出展・開催の協力(古賀市) | レジンアクセサリー作りとロボット操作体験のブースを出展し、195名の小中学生が参加 |
| | 職場体験学習の受け入れ実施(新宮中学校) | 学術支援機構からIT･グローバル･社会連携・モノづくりの推進に関わる４部署と図書館にて19名の生徒を受入 |
| | 小中学生を対象としたロボット操作体験と超電導実験を実施(三苫校区自治協議会) | 「二足歩行ロボット」「エアーホッケーロボット」「超電導デモ」の３プロジェクトメンバーによる体験会の実施 |
| 経済振興 | 他の学生と地域について考える「創生ワークショップ」を開催(福岡未来創造プラットフォーム) | 「交流で育む住みやすい町」「学びの地域勝浦」「農業育成プログラム」という観点から発表を実施 |
| | 学生による企業の課題解決策の検討・提案を行う課題解決型学習の実施(古賀市) | 企業に対し、作業効率の向上やSNSを活用した人材募集など、学科での学びを活用した課題解決の提案を実施 |
| | 「JR古賀駅西口エリア活性化プロジェクト」に参画(古賀市) | 「ビックデータ活用による商店街の分析調査」をテーマに商店街関係者や自治体職員に成果報告プレゼンテーションを実施 |
| | プラズマ照射による高付加価値農業に関する実証実験の実施(古賀市) | スイートコーンの早期収穫や品質向上を目指した実証実験と農園の遠隔からの定点観測装置の開発を継続 |
| 地域の安心・安全(防犯・防災) | 「認知症に優しいまちづくり事業」(福岡市東区)と連携した講座やフィールドワークなどのイベントを行う(東部地域大学連携) | 認知症への理解を深めるイベント「RUN伴(とも)」への参加(東部地域大学連携) |
| | 「女子学生のための防犯推進協議会」による放生会パトロールの実施(東部地域大学連携) | 福岡東警察署の指導の下、香椎校区の関係者と共に、筥崎宮の周辺脇道のパトロールを実施 |
| | 「サイバー犯罪捜査体験会」を開催(福岡県警) | サイバーセキュリティ協定の一環として、サイバー犯罪関する知識・スキル、警察専門捜査官の仕事を学ぶ体験会に参加 |

### 32) 情報基盤センター関連設備利用実績

**PC室稼働状況**

| 利用区分 | R3 | R4 | R5 |
|---|---|---|---|
| 授業利用数 | 2,936 | 3,141 | 2,984 |
| 授業外利用数 | 793 | 793 | 603 |
| 総合計 | 3,729 | 3,934 | 3,587 |

**PC利用状況**

| 利用区分 | R3 | R4 | R5 |
|---|---|---|---|
| 利用者数 | 27,685 | 30,330 | 27,206 |
| ログイン延数 | 217,943 | 262,005 | 206,706 |

**高度情報化PC利用状況**

| 設置箇所(台数) | R3 | | R4 | | R5 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 利用者延数 | 利用延時間 | 利用者延数 | 利用延時間 | 利用者延数 | 利用延時間 |
| クリエイティブ・ラボ（19台） | 1,029 | 1,008 | 2,095 | 2,320 | 3,005 | 3,305 |
| クリエイティブ・ブース(18台) | 12,777 | 14,795 | 4,390 | 6,509 | 4,760 | 7,296 |
| 3F学修スペース(11台) | 6,160 | 3,301 | 5,295 | 3,321 | 4,157 | 2,576 |

### 33) 図書館入館者数・貸出数

| 利用者区分 | R4 | | R5 | | 増減(R5-R4) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 入館者数 | 貸出数 | 入館者数 | 貸出数 | 入館者数 | 貸出数 |
| 大学学生 | 82,403 | 7,444 | 105,645 | 7,183 | 23,242 | △ 261 |
| 大学院生 | 2,952 | 1,191 | 3,274 | 1,163 | 322 | △ 28 |
| 短大学生 | 5,227 | 304 | 4,149 | 331 | △ 1,078 | 27 |
| 研究生・科目等履修生 | 490 | 38 | 304 | 14 | △ 186 | △ 24 |
| 留学生別科 | － | － | 20 | 0 | － | － |
| 教職員 | 2,177 | 997 | 2,604 | 663 | 427 | △ 334 |
| 学内関係者(特別許可者) | 1,357 | 802 | 1,038 | 743 | △ 319 | △ 59 |
| 学外利用者 | 281 | 301 | 10,925 | 1,247 | 10,644 | 946 |
| 図書館間相互貸借(ILL) | － | 62 | － | 37 | － | △ 25 |
| 計 | 94,887 | 11,139 | 127,959 | 11,381 | 33,052 | 242 |

### 34) 社会連携センター利用学生の資格取得実績

| 資格・試験名 | | R4 | | R5 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 受験者 | 合格者 | 受験者 | 合格者 |
| Microsoft Office Specialist (MOS) | Word | 37 | 36 | 40 | 39 |
| | Excel | 42 | 42 | 39 | 39 |
| | Power Point | 21 | 21 | 20 | 20 |
| ITパスポート | | 138 | 23 | 116 | 22 |
| うち、システムマネジメント学科 | | 44 | 6 | 47 | 12 |
| 基本情報技術者 | | ― | ― | 5 | 1 |
| CAD利用技術者試験（2級） | | 50 | 41 | 50 | 41 |
| バイオ技術者認定試験（上級） | | 8 | 2 | 5 | 2 |
| バイオ技術者認定試験（中級） | | 16 | 7 | 12 | 10 |
| バイオ技術者認定試験（初級） | | 23 | 22 | ― | ― |
| CCNA中級 | | 5 | 4 | 4 | 3 |
| WEBクリエイター(エキスパート) | | 18 | 18 | 12 | 12 |
| CGエンジニア検定（ベーシック） | | 10 | 5 | 9 | 6 |
| CGクリエイター（ベーシック） | | ― | ― | 1 | 0 |
| マルチメディア検定（ベーシック） | | 5 | 3 | 6 | 3 |
| 日商簿記検定　(3級) | | 20 | 1 | 29 | 7 |
| FE午前免除試験 | | 50 | 15 | 40 | 18 |
| リテールマーケティング2級 | | 9 | 4 | ― | ― |
| リテールマーケティング2級予備試験 | | 19 | 8 | 20 | 17 |
| リテールマーケティング3級 | | 33 | 12 | ― | ― |
| 合計 | | 504 | 264 | 408 | 240 |

### 35) モノづくりセンタープロジェクト活動実績

| プロジェクト名 | 参加大会名等 | 結果 |
|---|---|---|
| 二足歩行ロボット | ROBO-ONEバトル | 工大サミット学生交流イベントプロジェクトメンバー5名参加<br>2kg以上の部 優勝<br>2kg以下の部 ベスト4入賞 |
| | 「YOKA ロボまつり69 バトル大会」<br>「YOKA ロボまつり70 バトル大会」<br>「YOKA ロボまつり72 バトル大会」<br>「YOKA ロボまつり73 バトル大会」 | 3名参加<br>2名参加<br>4名参加<br>1名参加 |
| | 「第41回ヒューマノイドカップ」 | 1名参加<br>予選6位、決勝一回戦敗退 |
| | 「ROBO-ONE Light 最終認定大会」<br>「ROBO-ONE Light 最終認定大会」 | 1名参加<br>2名参加 |
| ロボット相撲 | 全日本ロボット相撲全国大会2023 | ６名参加<br>決勝トーナメント進出<br>ベスト32入賞（しこ名：突極彗星改三） |
| ロボコン | 九州夏ロボコン2023 | 18名参加<br>「わっしょい」チーム　３位<br>「アマビエ」チーム　技術賞 |
| 超電導デモ | 2023年度市民公開講座超電導デモ機コンテスト | 3名参加<br>7団体中２位 |
| エアーホッケーロボット(i-STEM連携) | 2023年度ミスミ学生ものづくり支援プログラム　応募 | 通常支援枠採択<br>（5万円相当のミスミ製品提供） |

### 36)学生表彰（団体表彰・個人表彰・卒業時学業成績優秀者）

**団体表彰（通期）**

| | |
|---|---|
| ラグビー部 | 第61回木元杯 九州セブンズ 優勝<br>令和5年度九州学生ラグビーリーグ 優勝 |
| 女子柔道部 | 第31回九州学生女子柔道優勝大会 女子3人制の部 3位<br>2023年度全日本学生柔道優勝大会 女子3人制の部 3位 |
| 吹奏楽団 | 第39回福岡県吹奏楽コンクール 大学の部 金賞<br>第68回九州吹奏楽コンクール大学の部 金賞<br>第71回全日本吹奏楽コンクール大学の部 銀賞<br>第17回福岡アンサンブルコンテスト 大学の部 金賞<br>第49回九州アンサンブルコンテスト 大学の部 金賞 |
| 軟式野球部 | 令和5年度九州学生軟式野球連盟春季大会 優勝<br>令和5年度九州学生軟式野球連盟秋季リーグ大会 優勝<br>第39回西日本学生軟式野球選抜大会 準優勝 |
| ロボコンプロジェクトプロジェクトメンバー 28名 | 九州夏ロボコン2023 3位入賞・技術賞 |
| FITモノづくりセンター(合同チーム) | 九州ロボットコンテスト2023　モノづくりフェア杯　優勝 |

**個人表彰（下期）**

| | |
|---|---|
| 早島 未來(電子情報工学科) | 2023年度第31回電子情報通信学会 九州支部 学生講演会<br>学生講演奨励賞 |
| 大橋 莉子(情報通信工学科) | 日本VR学会2023年度テレイマージョン技術研究会<br>テレイマージョン技術研究発表賞 |
| 三輪 歩夢(電気工学科) | 2023年度(第76回)電気・情報関係学会九州支部連合大会<br>論文発表賞B賞 |
| 古賀 琴乃(修士課程 社会環境学専攻) | (公社)福岡国際ミズの会による学生派遣事業への選出及び同事業の報告会での報告 |

**卒業時学業成績優秀者**

| | |
|---|---|
| ・岩谷 光（電子情報工学科） | ・池田 鷹飛（情報通信工学科） |
| ・青木 勇太（生命環境化学科） | ・月野 駿佑（情報システム工学科） |
| ・下津 歩未（知能機械工学科） | ・倉本 英希（システムマネジメント学科） |
| ・関戸 真矢（電気工学科） | ・河野 寛喜（社会環境学科） |
| ・宇都 健志（情報工学科） | |

### 37)学会表彰

**＜大学院＞**

| | |
|---|---|
| 飛松 美珠歩(修士課程生命環境化学専攻) | 日本食品科学工学会 優秀発表賞 |
| 峯口 諒(修士課程知能機械工学専攻) | 2023年度計測自動制御学会 SICE優秀学生賞 |
| 濱田 涼(修士課程知能機械工学専攻) | 2023年度日本機械学会 三浦賞 |
| 田中 天也(修士課程情報工学専攻) | 第21回情報科学技術フォーラム(FIT2022) FIT奨励賞 |
| 宮基 汰一(修士課程情報工学専攻) | ISASE2023 Presentation Encouragement Award |
| 萩原 百花(修士課程情報通信工学専攻) | 日本バーチャルリアリティ学会テレイマージョン技術研究会<br>テレイマージョン技術研究発表賞 |
| 二又 頌太(修士課程情報通信工学専攻) | 電子情報通信学会 九州支部 学術奨励賞 |

**＜大　学＞**

| | |
|---|---|
| 坂元 圭佑(電子情報工学科) | 電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞 |
| 早島 未來(電子情報工学科) | 電子情報通信学会 九州支部 学生講演会<br>学生会講演奨励賞 |
| 西 翔大(生命環境化学科) | 表面技術協会 九州支部 優秀学生賞 |
| 池田 賢斗(生命環境化学科) | 日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部 優秀学生賞 |
| 大庭 広汰(生命環境化学科) | 同上 |
| 糸山 依吹(生命環境化学科) | 資源・素材学会　Outstanding Student Award,KyushuMMIJ |
| 下津 歩未(知能機械工学科) | 日本機械学会 畠山賞 |
| 古後 太陽(知能機械工学科) | 計測自動制御学会 SICE優秀学生賞 |
| 隠﨑 遼河(電気工学科) | 電気学会 九州支部長賞 |
| 三輪 歩夢(電気工学科) | 電気学会 九州支部 優秀論文発表賞B賞 |
| 福嶋 優太(情報工学科) | 電子情報通信学会 九州支部　成績優秀賞 |
| 坂井 ひかる(情報通信工学科) | 電子情報通信学会 九州支部　成績優秀賞 |
| 大橋 莉子(情報通信工学科) | 日本バーチャルリアリティ学会テレイマージョン技術研究会<br>テレイマージョン技術研究発表賞 |
| 月野 駿佑(情報システム工学科) | 電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞 |
| 倉本 英希(システムマネジメント学科) | 日本経営工学会 優秀学生賞 |
| 鎮守 健(システムマネジメント学科) | 電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞 |

## 38) 高校の大学等合格実績・就職状況

| 国公立大学 | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|
| 九州大学 | 6 | 5 | 1 |
| 九州工業大学 | 9 | 2 | 14 |
| 福岡教育大学 | 5 | 2 | 4 |
| 佐賀大学 | 6 | 10 | 12 |
| 長崎大学 | 5 | 2 | 6 |
| 熊本大学 | 2 | 3 | 5 |
| 大分大学 | 3 | 2 | 1 |
| 宮崎大学 | 1 | 2 | 5 |
| 鹿児島大学 | 3 | 2 | 3 |
| 琉球大学 | 0 | 1 | 0 |
| 小樽商科大学 | 1 | 0 | 0 |
| 北見工業大学 | 1 | 0 | 0 |
| 山形大学 | 0 | 0 | 1 |
| 宇都宮大学 | 0 | 0 | 1 |
| 筑波大学 | 0 | 0 | 1 |
| 群馬大学 | 0 | 1 | 0 |
| 東京外国語大学 | 0 | 0 | 1 |
| 新潟大学 | 1 | 0 | 0 |
| 岐阜大学 | 0 | 0 | 1 |
| 滋賀大学 | 1 | 0 | 0 |
| 京都大学 | 2 | 0 | 0 |
| 大阪大学 | 1 | 1 | 1 |
| 大阪教育大学 | 1 | 0 | 0 |
| 神戸大学 | 1 | 0 | 1 |
| 鳥取大学 | 0 | 0 | 1 |
| 島根大学 | 1 | 0 | 0 |
| 岡山大学 | 0 | 0 | 1 |
| 広島大学 | 0 | 0 | 4 |
| 山口大学 | 2 | 1 | 1 |
| 高知大学 | 1 | 0 | 0 |
| 北九州市立大学 | 9 | 13 | 12 |
| 福岡県立大学 | 1 | 0 | 1 |
| 福岡女子大学 | 3 | 3 | 1 |
| 長崎県立大学 | 0 | 2 | 0 |
| 熊本県立大学 | 0 | 1 | 0 |
| 名桜大学 | 1 | 1 | 0 |
| 沖縄県立看護大学 | 0 | 0 | 1 |
| 釧路公立大学 | 0 | 0 | 1 |
| 東京都立大学 | 1 | 0 | 0 |
| 福井県立大学 | 0 | 0 | 1 |
| 都留文科大学 | 0 | 1 | 0 |
| 神戸市外国語大学 | 1 | 0 | 0 |
| 公立鳥取環境大学 | 0 | 0 | 1 |
| 県立広島大学 | 0 | 0 | 1 |
| 山陽小野田市立山口東京理科大学 | 1 | 1 | 3 |
| 下関市立大学 | 0 | 1 | 1 |
| 高知工科大学 | 2 | 0 | 0 |
| 国公立大学計 | 72 | 57 | 88 |

| 準大学等 | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|
| 防衛医科大学校 | 1 | 0 | 3 |
| 防衛大学校 | 7 | 2 | 2 |
| 航空保安大学校 | 0 | 0 | 1 |
| 水産大学校 | 2 | 0 | 0 |
| 職業能力開発総合大学校 | 0 | 2 | 0 |
| 九州職業能力開発大学校 | 17 | 7 | 12 |
| 川内職業能力開発短期大学校 | 1 | 0 | 0 |
| 北海道職業能力開発大学校 | 0 | 0 | 1 |
| 千葉職業能力開発短期大学校 | 0 | 1 | 0 |
| 国公立大学・準大学等計 | 100 | 69 | 107 |

| 私立大学 | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|
| 早稲田大学 | 0 | 1 | 0 |
| 上智大学 | 0 | 1 | 0 |
| 東京理科大学 | 4 | 2 | 2 |
| 学習院大学 | 1 | 0 | 0 |
| 明治大学 | 4 | 3 | 0 |
| 青山学院大学 | 2 | 1 | 1 |
| 中央大学 | 3 | 1 | 6 |
| 法政大学 | 6 | 3 | 4 |
| 関西大学 | 0 | 0 | 2 |
| 関西学院大学 | 2 | 1 | 5 |
| 同志社大学 | 3 | 10 | 5 |
| 立命館大学 | 14 | 15 | 14 |
| 北海学園大学 | 1 | 0 | 0 |
| 流通経済大学 | 0 | 1 | 0 |
| 国際医療福祉大学 | 4 | 3 | 1 |
| 高崎健康福祉大学 | 0 | 0 | 1 |
| 共栄大学 | 0 | 1 | 0 |
| 埼玉学園大学 | 1 | 0 | 0 |
| 駿河台大学 | 1 | 0 | 0 |
| 東京国際大学 | 3 | 0 | 2 |
| ものつくり大学 | 1 | 0 | 0 |
| 淑徳大学 | 1 | 0 | 0 |
| 千葉工業大学 | 17 | 1 | 1 |
| 麗澤大学 | 1 | 0 | 0 |
| 桜美林大学 | 0 | 0 | 1 |
| 大妻女子大学 | 0 | 1 | 0 |
| 北里大学 | 0 | 0 | 1 |
| 工学院大学 | 1 | 2 | 1 |
| 国士舘大学 | 2 | 1 | 0 |
| 駒澤大学 | 2 | 5 | 5 |
| 芝浦工業大学 | 0 | 0 | 1 |
| 昭和女子大学 | 1 | 1 | 0 |
| 専修大学 | 2 | 0 | 0 |
| 創価大学 | 0 | 2 | 0 |
| 大東文化大学 | 0 | 1 | 4 |
| 拓殖大学 | 0 | 7 | 0 |
| 玉川大学 | 1 | 0 | 2 |
| 帝京大学 | 5 | 12 | 6 |
| 東海大学 | 2 | 5 | 3 |
| 東京電機大学 | 1 | 2 | 0 |
| 東京農業大学 | 0 | 0 | 3 |
| 桐朋学園大学 | 0 | 1 | 0 |
| 東洋大学 | 1 | 0 | 0 |
| 日本社会事業大学 | 0 | 0 | 1 |
| 日本体育大学 | 0 | 3 | 1 |
| 日本赤十字看護大学 | 0 | 1 | 0 |
| 日本大学 | 3 | 2 | 1 |
| 文化学園大学 | 0 | 1 | 0 |
| 武蔵野大学 | 1 | 0 | 0 |
| 明治学院大学 | 1 | 0 | 2 |
| 立正大学 | 3 | 0 | 0 |
| 神奈川工科大学 | 1 | 1 | 0 |
| 神奈川大学 | 0 | 0 | 1 |
| 鎌倉女子大学 | 0 | 0 | 1 |
| 関東学院大学 | 1 | 1 | 2 |
| 洗足学園音楽大学 | 0 | 1 | 0 |

| 私立大学 | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|
| 金沢工業大学 | 2 | 3 | 1 |
| 福井工業大学 | 1 | 0 | 0 |
| 山梨学院大学 | 1 | 0 | 0 |
| 朝日大学 | 0 | 2 | 0 |
| 愛知学院大学 | 0 | 1 | 0 |
| 愛知大学 | 1 | 0 | 0 |
| 愛知東邦大学 | 1 | 0 | 0 |
| 大同大学 | 0 | 0 | 1 |
| 中京大学 | 0 | 0 | 1 |
| 同朋大学 | 0 | 0 | 2 |
| 名古屋外国語大学 | 0 | 0 | 2 |
| 名古屋芸術大学 | 0 | 2 | 0 |
| 南山大学 | 0 | 2 | 0 |
| 日本福祉大学 | 0 | 1 | 5 |
| 名城大学 | 0 | 0 | 2 |
| 京都産業大学 | 3 | 1 | 13 |
| 京都女子大学 | 0 | 0 | 4 |
| 京都精華大学 | 1 | 1 | 1 |
| 京都橘大学 | 1 | 0 | 0 |
| 同志社女子大学 | 1 | 0 | 1 |
| 佛教大学 | 0 | 1 | 0 |
| 明治国際医療大学 | 1 | 0 | 0 |
| 龍谷大学 | 2 | 2 | 4 |
| 追手門学院大学 | 0 | 0 | 2 |
| 大阪学院大学 | 0 | 2 | 0 |
| 大阪経済大学 | 1 | 0 | 0 |
| 大阪経済法科大学 | 12 | 0 | 0 |
| 大阪芸術大学 | 1 | 1 | 3 |
| 大阪産業大学 | 0 | 5 | 15 |
| 大阪体育大学 | 0 | 0 | 3 |
| 大阪電気通信大学 | 0 | 1 | 0 |
| 関西外国語大学 | 4 | 0 | 5 |
| 関西福祉科学大学 | 2 | 0 | 0 |
| 近畿大学 | 21 | 16 | 30 |
| 桃山学院大学 | 0 | 0 | 2 |
| 甲南大学 | 1 | 0 | 0 |
| 神戸学院大学 | 0 | 0 | 1 |
| 神戸芸術工科大学 | 1 | 0 | 0 |
| 神戸女子大学 | 1 | 1 | 0 |
| 天理大学 | 1 | 0 | 2 |
| 奈良大学 | 1 | 0 | 0 |
| 岡山理科大学 | 3 | 2 | 0 |
| 環太平洋大学 | 2 | 3 | 0 |
| 比治山大学 | 0 | 0 | 2 |
| 広島経済大学 | 0 | 1 | 0 |
| 広島工業大学 | 3 | 0 | 3 |
| 広島国際大学 | 1 | 2 | 2 |
| 広島文教大学 | 3 | 0 | 0 |
| 福山大学 | 0 | 0 | 1 |
| 安田女子大学 | 1 | 0 | 1 |
| 至誠館大学 | 2 | 0 | 0 |
| 東亜大学 | 0 | 0 | 2 |
| 梅光学院大学 | 1 | 0 | 1 |
| 松山大学 | 0 | 1 | 0 |
| テンプル大学 | 0 | 0 | 1 |
| テイラーズ大学 | 2 | 2 | 0 |

| 私立大学(九州地区) | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|
| 福岡工業大学 | 931 | 1,175 | 1,257 |
| 西南学院大学 | 48 | 50 | 64 |
| 福岡大学 | 124 | 191 | 206 |
| 九州産業大学 | 94 | 137 | 110 |
| 九州栄養福祉大学 | 0 | 3 | 1 |
| 九州共立大学 | 8 | 12 | 9 |
| 九州国際大学 | 4 | 4 | 7 |
| 九州情報大学 | 1 | 0 | 0 |
| 九州女子大学 | 4 | 3 | 2 |
| 久留米工業大学 | 3 | 11 | 4 |
| 久留米大学 | 8 | 26 | 36 |
| 産業医科大学 | 2 | 0 | 6 |
| 純真学園大学 | 4 | 6 | 7 |
| 西南女学院大学 | 3 | 4 | 4 |
| 聖マリア学院大学 | 0 | 4 | 1 |
| 第一薬科大学 | 4 | 1 | 1 |
| 筑紫女学園大学 | 23 | 17 | 18 |
| 中村学園大学 | 15 | 19 | 23 |
| 西日本工業大学 | 6 | 4 | 2 |
| 日本経済大学 | 2 | 2 | 6 |
| 日本赤十字九州国際看護大学 | 6 | 3 | 4 |
| 福岡看護大学 | 1 | 1 | 1 |
| 福岡国際医療福祉大学 | 3 | 7 | 7 |
| 福岡歯科大学 | 2 | 0 | 1 |
| 福岡女学院看護大学 | 1 | 5 | 3 |
| 福岡女学院大学 | 11 | 30 | 31 |
| 令和健康科学大学 | 10 | 10 | 8 |
| 西九州大学 | 1 | 1 | 0 |
| 活水女子大学 | 0 | 1 | 0 |
| 長崎国際大学 | 2 | 1 | 1 |
| 長崎総合科学大学 | 0 | 1 | 0 |
| 熊本学園大学 | 2 | 1 | 0 |
| 崇城大学 | 6 | 4 | 1 |
| 日本文理大学 | 3 | 2 | 0 |
| 別府大学 | 1 | 1 | 0 |
| 立命館アジア太平洋大学 | 3 | 0 | 5 |
| 九州保健福祉大学 | 1 | 1 | 0 |
| 宮崎国際大学 | 0 | 1 | 0 |
| 宮崎産業経営大学 | 1 | 0 | 0 |
| 鹿児島純心女子大学 | 0 | 1 | 0 |
| 第一工科大学 | 1 | 0 | 0 |
| 私立大学計 | 1,515 | 1,887 | 2,019 |
| 大学計 | 1,615 | 1,956 | 2,126 |

| 短期大学 | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|
| 福岡工業大学短期大学部 | 42 | 140 | 40 |
| その他の短大 | 17 | 25 | 17 |
| 短期大学計 | 59 | 165 | 57 |

## 高校の就職状況

| 就職状況 | 就職希望者 | 内定者 | 内定率 |
|---|---|---|---|
| R5 | 45 | 45 | 100% |
| R4 | 83 | 77 | 92.80% |
| R3 | 72 | 67 | 93.10% |

## ４．短大のMP・APの実施状況

### (1) MP・APの基本的な考え方

短大では、高い実務能力と高度な情報活用能力を有する人材の育成を今次 MP 目標に掲げ、この目標に適う多様な教育活動を AP（取組計画）として取り組んでいます。

当年度は、対面授業のもとで、ICT を活用した授業形態（反転授業、ハイフレックス型授業 *1）を、学生の様々な状況に対応しながら、従前の教育成果を確保することに注力しました。

*1　ハイフレックス型授業：同じ授業を対面・オンラインどちらの形式でも行う授業形態。講師は通常の対面授業を行いつつライブ配信・録画を行うことで同じ授業をオンラインでも提供できる。学生・生徒は対面かオンラインかを自身で選択することができ、希望する形で授業を受けることができる。

具体的には、学習方法の改善では、新入生対象基礎学力テスト（数学・情報）をオリエンテーション期間中に実施し、基準に未達の学生には、補習授業を重ねるなど、基礎学力の向上を図りました。

また、学生自らの課題発見力を高め、課題解決力を身に付けさせる PBL 授業（19 科目）や、新時代に対応できる新たな教育分野の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を実施しています。このプログラムは、文部科学省からリテラシーレベルおよび応用基礎レベルの同時認定を受け、とりわけ、応用基礎レベルは全国の短大では唯一の認定となりました。

なお、当年度卒業生のうち、リテラシーレベルは 121 名、応用基礎レベルは 17 名が修了しました。

次に、学生指導の改善では、多欠席学生や成績が悪化している学生を抽出し、面談実施および保護者へ文書を送付し注意を促しています。加えて、定期面談継続や科目担当教員、学生相談室・保健室職員と連携を図りつつ継続的なフォローを続け、学内会議等で対応状況について情報を共有しました。

最後に、就職支援の取組では、合同企業セミナーへの参加を促す事前ガイダンスと開催後の個人面談を徹底しました。また、編入支援の取組では、各種の対策講座（数学、TOEIC、専門教育科目など）をはじめ、個別指導（面接訓練、志望理由書添削）を重ねました。いずれの進路支援も正課のカリキュラム（進路設計）と正課外の支援を連動し、教職協働で取り組みました。

### (2) 顕著な取組成果（進学・就職の取組実績は、P. 10, P. 11を参照）

これらの取組の成果として、すべての授業や卒業研究で行う学生授業アンケートからは、学生の理解度・満足度の指標において当初目標をクリアし、学修行動調査でも、良好な成果を得ました。

### (3) 今後の課題認識・課題達成方策等

今後の課題として、近年、①入学志願者・入学者の大幅な減少、②学力の低下、③これによる就職や編入学における目標進路実現の難化があげられます。

そこで、これらの①～③の課題に対応し、6 年度以降、以下の改善方策を徹底することによって、課題解決を図ることとします。

先ずは、①近隣高校の生徒や教員に対して、情報の発信をさらに強化すること、並びに、②数学科目において、正課と課外講座の連動により、基礎学力を向上させることや、基本情報技術者や IT パスポート等の情報系資格において、正課科目の中で各種問題を演習に組み込み、学習を積み上げることとしています。また、SPI については、低得点層の学生に対し対面講座を拡充し、早期に底上げを行うこととしています。また、上記③については、学修歴を証明する取組の推進、学生の希望に寄り添う進路の開拓、編入学説明会への参加誘導の積極化を図ることとします。

これらを通じて、取組の効果が最大限に発揮できるよう、取り組みを進める予定です。

# 令和5年度 通期APレビュー集計表（短期大学部）

1. AP進捗状況（AP実施単位）　　【レビュー対象】インフラAP以外の事業

| 区分 | AP事業 | | レビュー対象事業の達成率 | | | 進捗80%以上の割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計画 | レビュー対象 | 80%～100% | 50%～80%未満 | 0%～50%未満 | |
| 学生募集委員会 | 4 | 4 | 2 | 1 | 1 | 50.0% |
| 入試委員会 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 100.0% |
| 教務委員会 | 5 | 4 | 2 | 0 | 2 | 50.0% |
| 教育推進委員会 | 5 | 4 | 4 | 0 | 0 | 100.0% |
| 学生委員会・<br>障がい学生修学支援 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 100.0% |
| 編入学支援委員会 | 4 | 4 | 4 | 0 | 0 | 100.0% |
| 就職委員会 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 100.0% |
| 自己点検評価委員会 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 100.0% |
| 運営委員会 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 100.0% |
| 全体 | 29 | 27 | 23 | 1 | 3 | 85.2% |

2. AP詳細　短期大学部　　進捗50%未満の取組

| 区分 | 事業名 | 達成目標 | 実績 | 進捗率 |
|---|---|---|---|---|
| 学生募集委員会 | 城東高校との連携<br>（高短連携教育（夏季講座）の推進、高校への情報発信強化） | 内部進学30名以上 | 入学手続者<br>4名 | 13% |
| | 協定校との高短連携の拡大 | 新規協定校 1校以上 | 新規協定校<br>1校 他 | 100% |
| | 高校生を対象とした募集型講座 | 受講者 40名以上 | 受講者 3講座で<br>50名 | 100% |
| | 「情報短大」としてのブランドイメージの確立 | 志願者 400名以上 | 志願者 288名 | 72% |
| 入試委員会 | 入学者の安定的確保 | 入学者 160名以上 | 入学者154名 | 96% |
| | 入試選抜方法の変更 | 入試総括作成、入試方法検討 | 「情報」科目の<br>新設 他 | 100%<br>（プロセス指標） |
| 教務委員会 | 学修者本位の教育の推進<br>（PBL科目および卒業研究の実施） | 授業ｱﾝｹｰﾄ満足度 2.5点以上 | PBL科目・卒研<br>全てｸﾘｱ | 100% |
| | 学修者本位の教育の推進<br>（夏季・春季休暇中の海外研修） | 3名の参加 | 夏季の海外研修<br>1名参加 | 33% |
| | 学修者本位の教育の推進<br>（教育DX整備・維持）【ｲﾝﾌﾗAP】 | － | － | － |
| | 資格取得の支援（受験料補助、資格奨学生制度の活用、資格報奨） | 資格受検者：30名 | 受験料補助22名<br>/受験者61名中 | 36% |
| | 教育課程の評価・改善 | 評価報告書の提出 | 運営委員会で<br>報告 | 100%<br>（プロセス指標） |

| 区分 | 事業名 | 達成目標 | 実績 | 進捗率 |
|---|---|---|---|---|
| 教育推進委員会 | 講義PDCA計画書に基づき授業を実施 | 授業ｱﾝｹｰﾄ満足度2.5点以上 他 | 全ての科目で達成 他 | 100%（プロセス指標） |
| | FD研修会の開催（独自研修会、合同研修会） | 研修会報告書 | 独自研修会、中村短大との意見交換会実施 | 90%（プロセス指標） |
| | 入学前教育とリメディアル教育の実施 | 推薦入学者の基礎学力ﾃｽﾄの成績の分析、課外講座実施 | 課外講座実施 | 100%（プロセス指標） |
| | ICTを活用した対面授業の実施 | 講義PDCA計画・報告書の作成と総括または教育系学術論文等での発表 | 全教員が講義PDCA報告書提出、研究発表4件 | 100%（プロセス指標） |
| 学生委員会・障がい学生修学支援 | 修学支援体制の充実（新入生面談、多欠席面談、成績不良者面談） | 学科会議での対応状況報告 | 学科会議で報告 | 100%（プロセス指標） |
| | 多様な学生への支援体制の確立（障がい学生修学支援） | ｾﾐﾅｰ内容報告の議事録、学生に対する研修の計画書と実施報告書 | 学科会議で報告 | 100%（プロセス指標） |
| | 多様な学生への統合的進路支援の提供 | 進路未決定の学生数10名以内 | 進路未決定者6名 | 100%（プロセス指標） |
| 編入学支援委員会 | 国公立大学への編入学強化（春季講座、課外講座、TOEIC対策） | 国公立合格者10名 他 | 合格者のべ9名 他 | 85% |
| | 福岡工業大学への編入強化（面談、模擬面接、筆記試験対策等） | 合格者 25名 | 合格者 20名 | 80% |
| | 受験支援の強化（旅費の補助、近郊私大編入説明会の開催） | 編入決定率 95% 他 | 編入決定率100% | 91% |
| | 基礎学力の向上（SPI講座、編入対策学生サポーター、進路設計） | SPI 非言語得点平均値 1段階ｱｯﾌﾟ 他 | 非言語の総合で1段階アップ（3→4） | 94% |
| 就職委員会 | 新卒採用の変化に対応した就職支援体制の再構築 | 就職率 95% | 就職率100% | 100% |
| | 情報関連企業・職種への就職支援強化 | 情報系への就職者割合 50% | 情報系への就職者51.4%（3/25現在） | 100% |
| 自己点検評価委員会 | 教員評価制度の実施 | R4優秀教員の表彰、R5評価実施 | R4表彰、R5評価実施 | 100%（プロセス指標） |
| | 自己点検・評価活動の推進 | 課題改善、報告書のWeb公開 | 報告書Web公開 | 100%（プロセス指標） |
| 運営委員会 | 教育課程の編成方針の策定（ｶﾘｷｭﾗﾑに関する意見交換会、ｱﾝｹｰﾄ調査等） | 年2回実施 | 企業との意見交換会実施 | 100%（プロセス指標） |
| | 教育課程の編成方針の策定（カリキュラム評価報告を基に編成方針を策定） | 方針策定 | R6教育課程編成方針（案）策定 | 100%（プロセス指標） |

※達成目標が複数にわたる場合の進捗率は、単純平均とする（少数第1位切り上げ）。
　また、指標達成率が100%以上の場合は100%として算出している。

# 令和6年度AP計画　集計表（短期大学部）

1.AP進捗状況（部門全体）

| 区分 | 令和6年度<br>AP項目数 | 令和5年度<br>AP項目数 | 前年比増減 | 新規事業 |
|---|---|---|---|---|
| 短期大学部（全体） | 28 | 29 | -1 | 0 |

2.AP計画状況（AP実施単位）

| 区分 | 令和6年度<br>AP項目数 | 令和5年度<br>AP項目数 | 前年比増減 | 新規事業 |
|---|---|---|---|---|
| 学生募集委員会 | 4 | 4 | 0 | 0 |
| 入試委員会 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| 教務委員会 | 4 | 5 | -1 | 0 |
| 教育推進委員会 | 5 | 5 | 0 | 0 |
| 学生委員会・<br>障がい学生修学支援 | 3 | 3 | 0 | 0 |
| 編入学支援委員会 | 4 | 4 | 0 | 0 |
| 就職委員会 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| 自己点検評価委員会 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| 運営委員会 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| 全体 | 28 | 29 | -1 | 0 |

3.AP詳細　短期大学部　　（金額単位：千円）

| 区分 | 事業名 | 達成目標 | 実績 | 達成率 | 特別予算 |
|---|---|---|---|---|---|
| 学生募集委員会 | 城東高校との連携 | 内部進学 30名以上 | | | ― |
| | 協定校との高短連携の拡大 | 新規協定校 1 校以上 | | | 20 |
| | 高校生を対象とした講座の実施 | 受講者 40名以上 | | | ― |
| | 「情報短大」としてのブランドイメージの確立 | 志願者 400名以上 | | | 180 |
| 入試委員会 | 入学者の安定的確保 | 入学者 160名以上 | | | ― |
| | 入試選抜方法の検討 | 入試総括の作成、入試方法の検討 | | | ― |
| 教務委員会 | 学修者本位の教育の推進<br>（MDASH、PBL科目および卒業研究の実施） | 授業ｱﾝｹｰﾄ理解度・満足度 2.5点以上 | | | 1,200 |
| | 学修者本位の教育の推進<br>（夏季・春季休暇中の海外研修） | 海外英語研修参加者 4名 | | | 60 |
| | 資格取得の支援 | 実務系資格受験者：30名 | | | 150 |
| | 教育課程の評価・改善 | ｶﾘｷｭﾗﾑ評価報告書の提出 | | | ― |

| 区分 | 事業名 | 達成目標 | 実績 | 進捗率 | 特別予算 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育推進委員会 | 講義PDCAの実施 | 授業ｱﾝｹｰﾄ理解度・満足度2.5点以上 他 | | | — | |
| | FD研修会の開催 | 研修報告書 | | | — | |
| | 入学前教育とリメディアル教育の実施 | 推薦入学者の成績の分析、補習授業の実施 | | | 2,550 | |
| | 学修者本位の教育の推進（学修行動調査／授業アンケート） | 各調査の回答率50％以上 | | | — | |
| | 数理・データサイエンス・AI教育の推進と評価 | MDASH自己点検評価報告書の作成 | | | — | 新規事業 |
| 学生委員会・障がい学生修学支援 | 修学支援体制の充実 | 学科会議での対応状況報告 | | | — | |
| | 多様な学生への支援体制の確立（障がい学生修学支援） | ｾﾐﾅｰ内容報告の議事録／学生研修計画書、実施報告書 | | | 11 | |
| | 多様な学生への統合的進路支援の提供 | 進路未決定の学生数10名以内 | | | — | |
| 編入学支援委員会 | 国公立大学への編入学強化 | 国公立合格者10名、TOEIC450 点以上 5 名 | | | 15 | |
| | 福岡工業大学への編入強化 | 合格者 20名 | | | — | |
| | 受験支援の強化 | 編入決定率 95% 他 | | | 425 | |
| | 基礎学力の向上（SPI講座、編入対策学生サポーター、先輩達による体験談・座談会） | SPI 非言語得点平均値 1段階ｱｯﾌﾟ 他 | | | 735 | |
| 就職委員会 | 新卒採用の変化に対応した就職支援体制の再構築 | 就職率 95% | | | 2,000 | |
| | 情報関連企業・職種への就職支援強化 | 情報関連への就職者 50% | | | — | |
| 自己点検評価委員会 | 教員評価制度の実施 | 2023年度優秀教員の表彰、2024年度評価実施 | | | — | |
| | 自己点検・評価活動の推進 | 課題改善、報告書のWeb公開 | | | — | |
| 運営委員会 | 教育課程の編成方針の策定（ｶﾘｷｭﾗﾑに関する意見交換会、ｱﾝｹｰﾄ調査等） | 各実施報告書 | | | 30 | |
| | 教育課程の編成方針の策定（ｶﾘｷｭﾗﾑ評価報告を基に編成方針を策定） | 教育課程の編成方針策定 | | | — | |

## 総評（事務局レビューコメント）

Confidential

Confidential

## ５．高校のMP・APの実施状況

### (1) MP・APの基本的な考え方

高校では、社会の変化に能動的に対応し、主体的に社会に働きかける能力を有する人材の育成を、今次の MP 目標に掲げ、この目標に適う多様な教育活動を AP（取組計画）として取り組んでいます。

### (2) 当年度の実施状況（取組成果は、P. 10、P. 11を参照）

当年度は、各種生徒情報の一元管理、教職員の事務手続き効率化の観点から、校務システムを導入し、本校の運用に合わせてカスタマイズを実施しました。PC ルームの管理サーバは大学基盤センターへ移し、一元管理を行うことで、外部からの脅威に対して、より安全な運用が可能となりました。加えて、マイクロソフトの利用により、オンライン上で様々な教材がさらにスムーズに提供できており、先進的な授業方法の導入を果たしています。また、コロナ災禍で抑制されていた留学意欲が増し、海外語学研修に参加する生徒が増加したことにより、語学を駆使してグローバル課題を解決できる人材の育成に寄与することができました。

さらに、「情報」科目に関連し、プログラミング能力をさらに伸長させることを目的に、学修意欲の高い生徒を対象として、夏季休暇中のプログラミングキャンプを実施しました。

なお、教科力・指導力向上を目指す授業法改善の取組では、教科力診断テストの実施はもとより、WEB による授業研究システムを導入し、授業方法のバリエーションを拡げる研修環境を構築しています。過年度から継続して、生徒の興味･関心や適性を見極めながら、目標とする進路の実現を目指しました。

### (3) 今後の課題認識・課題達成方策等

今後の課題としては、①効果的な募集活動のさらなる展開と発信情報の質向上、②社会に開かれた教育課程の実践とスクールミッション・スクールポリシーの浸透、③組織的な進路支援体制の構築があげられます。

そこで、これらの①～③の課題に対応し、6 年度以降、以下の改善方策を徹底することによって、課題の達成を図ることとします。

まず、①について、多数のメディア露出等が奏功要因のひとつであることから、引き続き、生徒の高校選びや活動、成績等に関するデータを収集・分析するなど、数字的根拠に基づく、募集活動を継続していきます。

次に、②では、ICT を活用した教育やキャリア教育など、本校の特色をさらに深化させた教育課程の実践と、スクールミッション・スクールポリシーについては、必ず グッドプラクティス（GP） に紐づかせること、また、カリキュラムポリシー（CP） に沿った主張であることを継続して訴求し、教員への浸透を図っていくこととします。

最後に、③では、このうち、大学進学について、国公立大学合格者が、過去 5 年間で最高となった一方で、九州大学他難関国公立大学合格者について、目標を下回る 3 名と厳しい結果となりました。これは、「組織的な進路支援体制づくり」における「生徒アンケートの実施・分析」、「実力考査（仮称）の実施」、「定期考査結果分析と模試結果分析」などの改善取組のマンパワーの不足による遅れが要因と考えており、今後、改善に注力します。また、就職について、1 社目内定率は、第 9 次 MP 目標（100%）を下回る 93%であったものの、就職希望者全員内定の達成、公務員内定数も 7 名と例年並みを維持しており、この継続・拡大を目標に据えて取り組みます。

これらの課題達成を通じて、第 9 次 MP 最終年度となる令和 6 年度 AP を確実に遂行し、中期運営計画で掲げる目標の達成につなげます。

# 令和5年度AP通期レビュー　集計表（城東高校）

1. AP進捗状況（AP実施単位）

| | | AP事業 | | レビュー対象事業の達成率 | | | 進捗80%以上の割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 計画 | レビュー対象 | 80%～100% | 50%～80%未満 | 0%～50%未満 | |
| 【戦略Ⅰ】 | 広報主任 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 100.0% |
| | 募集主任 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 100.0% |
| | 教務・募集主任 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 100.0% |
| 【戦略Ⅱ】（【戦略Ⅴ】） | 副校長 | 5 | 3 | 2 | 1 | 0 | 66.7% |
| | 教務・ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ主任 進学・進路主事 | 6 | 6 | 4 | 2 | 0 | 66.7% |
| 【戦略Ⅳ】 | 進学主事 | 4 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0.0% |
| | 進路主事 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 100.0% |
| 全体 | | 23 | 19 | 13 | 5 | 1 | 68.4% |

2. AP詳細　城東高校　　進捗50%未満の取組

| 区分 | 事業名 | 達成目標 | 実績 | 達成率 |
|---|---|---|---|---|
| 【戦略Ⅰ】広報主任 | 発信する情報の質の向上（テレビ・ラジオ・雑誌・新聞への露出機会増加） | 6回/年 | 8回 | 100% |
| | 〃　（インスタグラムの利用） | 城東ｲﾝｽﾀｸﾞﾗﾑ更新 1回以上/週、ﾌｫﾛﾜｰ2500人 | 投稿増、ﾌｫﾛﾜｰ数3047人 | 100% |
| | 〃　（他校との差別化を図るパンフレット） | 学校説明会や新入生ｱﾝｹｰﾄで確認 | 学内外で好評 | 100% |
| 【戦略Ⅰ】募集主任 | 効果的な募集活動の展開 | 募集活動と志願者数および入学者数との相関係数の検証 他 | ｱﾝｹｰﾄ回答率 新入生100% 保護者 60% | 100% |
| | | 中学生と保護者へのｱﾝｹｰﾄ実施し、魅力ある情報発信の度合いを測る | 全説明会でｱﾝｹｰﾄ実施、模擬試験の分析等 | 100% |
| 【戦略Ⅰ】教務主任 募集主任 | 生徒の成長の見える化（生徒ポートフォリオ機能の活用） | ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵへの入力状況 等 | ｼｽﾃﾑの機能整備は完了 | — |
| | 〃　（個人カルテの一元化） | 全生徒の個人カルテ完成 | 教務支援ｼｽﾃﾑで可視化 | 100% |
| 【戦略Ⅱ】副校長 | スクールミッションの再定義と３つのスクールポリシーの策定 | ｽｸｰﾙﾐｯｼｮﾝ・ｽｸｰﾙﾎﾟﾘｼｰの明文化と校内外への告知 | 校内外へ公表 | 100% |
| | 人材育成・職能育成を目指した研修等のシステムの構築と実践（人材育成・職能育成につながる目標管理制度の構築） | 目標管理制度の実質化 | 主任主事が個々の目標や抱える課題感を確認、声掛け | 80% |
| | 〃　（メンター制度導入など育成システム構築に向けた議論） | 育成システムの完成 | ﾁｰﾑ担任制の研究発表に参加 | 50% |
| | 〃　（自発的な自己研鑽につながる指標の作成） | 教員育成指標の完成 | 思案継続中 | — |
| | 〃　（教員育成につながる研修制度の再構築） | 新たな教員研修制度の完成 | 本校にﾏｯﾁする研修制度を協議中 | — |
| 【戦略Ⅱ】教務主任 | 「可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学び」の研究と実践（学習支援ソフト・個別学習アプリの活用促進） | 学習支援ｿﾌﾄ等の活用状況について教科間の情報共有を図る | 活用状況は教科間で共有 | 70% |
| | 「社会に開かれた教育課程」の実践（教科横断的な学びの実現） | 授業見学で取り組み状況の共有 | 各教科とも授業見学を実施 | 60% |

| 区分 | 事業名 | 達成目標 | 実績 | 達成率 |
|---|---|---|---|---|
| 【戦略Ⅱ】グローバル主任 | 〃　（国内外の多様な思想や知識、文化的背景を持つ人々との交流機会創出　他） | 説明会で年間20件のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ案内、合計500名以上の生徒の参加 | 33ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ案内、650名の生徒が参加 | 100% |
| 【戦略Ⅱ】キャリア主任 | 〃　（探求的思考の滋養、学びへの動機付け、社会と自分との関連付け） | 生徒の発表による<br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ評価 他 | 各ｺｰｽでの発表や内容充実 | 100% |
| 【戦略Ⅱ】進学主事 | 〃　（教員・生徒対象の県外大学の説明会・教員対象の特徴ある学部学科の説明会実施） | 教員の大学訪問 年1回、<br>ｵﾝﾗｲﾝ説明会実施 | 大学訪問、生徒向け報告会実施 | 80% |
| 【戦略Ⅱ】進路主事 | 〃　（看護体験会・職場見学・インターンシップの実施） | 看護体験会 年2回<br>職場見学等 通年実施 | ｲﾍﾞﾝﾄ参加、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ実施 | 100% |
| 【戦略Ⅳ】進学主事 | 組織的な進路支援体制づくり（九大コースを含む校内予備校の開講） | 長期休暇中 年3回<br>土曜日 年16回 | 春休みのみ実施 | 60% |
| | 〃　（授業と補習との役割分担を教科担当に周知徹底、双方の効率化を図る） | 生徒ｱﾝｹｰﾄによる検証 | ｱﾝｹｰﾄによるﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ未実施 | 30% |
| | 〃　（実力考査（仮称）を実施し、生徒の実践力と教員の指導力向上を促進） | 実力考査<br>年2回実施 | 未実施 | ― |
| | 〃　（定期考査結果と模試結果の分析） | 年5回実施 | 模試結果の分析実施 | 50% |
| 【戦略Ⅳ】進路主事 | 就職希望者に対する早期からの指導・支援（個別面談） | 1社目内定率 100% | 内定率100%、（1社目内定率93%、公務員内定率70%） | 90% |
| | 〃　（就職ガイダンス） | 2～3回実施 | | |
| | 〃　（就職試験対策補習・SPI模試の実施） | 3～4回実施 | | |
| | 〃　（公務員試験対策の情報提供と補習） | 通年実施 | | |
| | 〃　（各企業との情報交換強化） | 通年実施 | | |

Confidential

Confidential

# 令和6年度AP計画　集計表（城東高校）

## 1. AP進捗状況（部門全体）

| 区分 | 令和6年度AP項目数 | 令和5年度AP項目数 | 前年比増減 | 新規事業 |
|---|---|---|---|---|
| 城東高校（全体） | 27 | 23 | 4 | 10 |

## 2. AP進捗状況（AP実施単位）

| 経営戦略 | 区分 | 令和6年度AP項目数 | 令和5年度AP項目数 | 前年比増減 | 新規事業 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【戦略Ⅰ】 | 広報主任 | 3 | 3 | 0 | 0 |
| | 募集主任 | 4 | 2 | 2 | 3 |
| | 教務・募集主任 | 3 | 2 | 1 | 1 |
| 【戦略Ⅱ】（【戦略Ⅴ】） | 副校長 | 5 | 5 | 0 | 3 |
| | 教務・ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ主任 進学・進路主事 | 8 | 6 | 2 | 1 |
| 【戦略Ⅳ】 | 進学主事 | 3 | 4 | -1 | 2 |
| | 進路主事 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 全体 | | 27 | 23 | 4 | 10 |

## 3. AP詳細　城東高校

新規取り組み・達成目標

| 区分 | 事業名 | 達成目標 | 実績 | 達成率 | 特別予算（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 【戦略Ⅰ】広報主任 | 発信する情報の質の向上(マスメディアへの露出増加と本校の効果的なアピール) | 6回/年 | | | ― |
| | 〃（インスタグラムを使った情報発信とフォロワーからの閲覧の習慣化） | 城東ｲﾝｽﾀｸﾞﾗﾑ更新 1回以上/週 他 | | | ― |
| | 〃 （パンフレットを活用した「教育力の高い学校」というブランディング） | 城東ブランドの完成 | | | ― |
| 【戦略Ⅰ】募集主任 | 効果的な募集活動の展開(新入生とその保護者へのアンケートによる募集戦略の検証) | 募集活動と志願者数、入学者数との相関係数の検証 他 | | | ― |
| | 〃（受験生を対象とした模擬試験の分析による志望動向の把握） | 模試受験者における公立高校との併願率（福岡高校 50% 他） | | | ― |
| | 〃（来校中学生・保護者へのアンケート調査を実施、魅力ある情報発信の度合いを測る） | アンケート調査の実施と検証 | | | ― |
| | 〃（工業科の志願者・入学者確保に向けた工業科イベントの積極的な実施） | 工業に関する説明会の参加者(中学生・保護者)500 名 | | | ― |
| 【戦略Ⅰ】教務主任 募集主任 | 生徒の成長の見える化(生徒情報を一元管理、「生徒ポートフォリオシステ | 生徒ポートフォリオシステムへの入力率 80% | | | ― |
| | 〃（生徒の成績や諸活動等を一元管理し生徒の成長を可視化。「個人カルテ」の作成） | 訪問校 132 校へ提供 | | | ― |
| | 〃（中学校訪問で「個人カルテ」を活用。生徒を成長させる教育活動の認知向上） | | | | ― |

| 区分 | 事業名 | 達成目標 | 実績 | 達成率 | 特別予算 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【戦略Ⅱ】副校長 | スクールポリシーの実質化（スクールポリシーの教員への浸透） | 研修や会議での説明（年 12 回） | | | — |
| | 〃（教育活動の見直し。スクールポリシー（GP）との紐付け） | すべての教育活動の評価・検証 | | | — |
| | 人材育成・職能育成を目指した研修等のシステムの構築と実践(令和5年度に見えた「新しい目標管理システムの課題」を改善) | 目標管理システムの課題の改善 | | | — |
| | 〃（個々の担任力の向上と組織で課題に立ち向かうマインドを育成） | 育成システムの完成 | | | — |
| | 〃（教員育成研修制度の構築と個々の研修の効果の測定） | 教員研修制度の完成 | | | — |
| 【戦略Ⅱ】教務主任 | 「可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学び」の研究と実践（学習支援ソフト・個別学習アプリの活用促進） | 学習支援ｿﾌﾄ等の活用状況について教科間の情報共有を図る | | | — |
| 【戦略Ⅱ】教務主任 | 「可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学び」の研究と実践(授業での学習支援ソフト活用の促進) | 個別学習アプリ（スタディサプリ）の活用状況 75% | | | — |
| | 〃（家庭学習における個別学習アプリの利用方法を再定義） | | | | — |
| | 〃（協働的な学びの深化。対面授業とICTを組み合わせたハイブリッドスタイルの確立） | 授業における探究的な活動の実施状況調査 | | | — |
| | 「社会に開かれた教育課程」の実践(教科学習における協働的な学び、探究的な学びの機会を増加。科横断的な学びの実現に向けた検討) | 授業見学で、取り組み状況の共有 | | | — |
| 【戦略Ⅱ】グローバル主任 | 〃 （海外留学を通し国内外の多様な思想や知識、文化的背景を持つ人々との交流機会創出　他） | 留学プログラムへの参加生徒数合計60名以上他 | | | 1,500 |
| | 〃 （校内へ留学生を招き、より多くの生徒の国際的な視野を養う） | 校内外の15以上のグローバルイベントの案内/実施　他 | | | — |
| 【戦略Ⅱ】キャリア主任 | 〃（「社会のリーダーとなり得る人材の育成」をテーマとしたキャリア教育の深化） | クエストカップへの出場権　2回獲得 | | | — |

| 区分 | 事業名 | 達成目標 | 実績 | 達成率 | 特別予算 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【戦略Ⅳ】進学主事 | 組織的な進路支援体制づくり(大学進学指導力強化を目的とした教員の大学派遣) | 「大学視察報告会」の実施 教員対象：各コース会にて１～２回　生徒対象：年２～３回他 | | | ― |
| | 〃（進路指導の重要性（教員）と進路研究の意識付け（生徒）を目的した「大学視察報告会」の実施） | | | | ― |
| | 〃（生徒の演習量不足と教員の入試問題等に関する指導力向上を目的とした「校内予備校」の実施） | 「校内予備校」の年２回実施 | | | 800 |
| 【戦略Ⅳ】進路主事 | 就職希望者に対する早期からの指導・支援（個別面談） | 就職希望者全員の個別面談 100％ | | | ― |
| | 〃（就職ガイダンス） | 2～3回実施 | | | ― |
| | 〃（企業研究、見学会の参加(教員・生徒)） | 2～3回実施 | | | ― |
| | 〃（就職対策補習・模試実施） | 通年実施 | | | ― |
| | 〃（公務員について外部委託(講師)を導入） | 通年実施 | | | ― |

## 総評（事務局レビューコメント）

Confidential